

令和2年度
行政評価



長野県下伊那郡松川町

第5次松川町総合計画【改訂版】

行政評価

目 次

はじめに	・・・	1
1. 基本方針1 多様性を活かした自治づくり		
1－1 持続可能な自治組織づくり	・・・	3
2 男女共同参画の推進	・・・	6
3 町政情報の共有	・・・	8
4 時代にあった行政財産運営と行政サービスの推進	・・・	12
5 移住定住の促進	・・・	20
2. 基本方針2 安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づくり		
2－1 子どもの育ちの切れ目ない支援	・・・	26
2 探究的・主体的な学び	・・・	36
3 地域とともに育てる学校づくり	・・・	41
4 学びが循環する社会づくり	・・・	44
3. 基本方針3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり		
3－1 健康な暮らしづくり	・・・	54
2 食育の推進	・・・	64
3 支えあい、認め合うまちづくりと共生社会の実現	・・・	72
4. 基本方針4 安心で安全な住みよい暮らしづくり		
4－1 災害に強い地域づくり	・・・	82
2 暮らしを支える交通環境づくり	・・・	95
3 自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進	・・・	104
4 安心安全な水の供給	・・・	122
5. 基本方針5 活気ある産業が息づくまちづくり		
5－1 持続可能な農業の推進	・・・	128
2 魅力的な商工業の振興	・・・	141
3 関係人口の構築	・・・	149
6. 資料編		
6－1 目標指標進捗状況一覧	・・・	159
－2 施策大綱ごとにみた関連するSDGs一覧	・・・	165

はじめに

1. 行政評価の目的について

第5次松川町総合計画【改訂版】に掲げる施策の総合的達成度を把握するとともに、課・局をこえた視点で施策の分析・検証を行い、成果や改善点を明らかにして、次年度の事業構築や次期計画への政策形成につなげていきます。

2. 行政評価の方針

これまでの行政評価の課題	R2年度からの行政評価の方針
・評価件数が多く、施策の効果・成果がわかりにくい。 ・個々の計画の進捗管理が中心。	・次年度の事業構築や次期計画への政策形成につなげるため、施策の効果や成果を中心に評価する。

3. 評価の対象

第5次松川町総合計画【改訂版】に掲げる、基本計画（基本施策）を評価対象とします。

基本施策が、町の基本方針の実現に向け、どのような効果や成果を与えているのか課題を含め検証し、町の施策に活かすほか、次期松川町総合計画の策定に役立てます。



- 【行政評価の対象】
- ・66個ある基本施策ごとに、評価を行います。
 - ・評価は、施策大綱に掲げる基本施策の効果と成果について行います。
- 進捗管理
- ・実施計画ごとに進捗管理を行います。

4. 評価の項目・観点

施策の評価は、施策の達成度で評価を行います。

なお、施策の目的達成度は次に掲げる段階で評価を行います。

(1) 基本施策の目的達成度

区分	達成度
4	目的達成
3	目的達成度80%以上
2	目的達成度50%以上
1	目的達成度50%未満

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性

区分	方向性
維持継続	事業の内容をそのまま継続する
拡大・改善	事業の内容を新規追加する／事業の内容を見直す
縮小・廃止	事業の内容の一部又は全部を取りやめる

5. 評価シートの構成

評価シートは施策大綱ごとに、(1)総括評価（施策大綱評価）、(2)基本施策評価の2つで構成されています。

(1) 総括評価（施策大綱評価）

施策大綱に対する評価を行います。

- ・ 町の基本方針
- ・ 目標指数
- ・ 総合評価（令和4年度、5年度評価）
 - ① 基本施策の達成度
 - ② 次期総合計画への方向性

(2) 基本施策評価

町の基本方針の実現に向けて実施している基本施策ごとに評価を行います。

- ・ 年度ごとの評価
 - ① 基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか
 - ② 基本方針の実現に向けた課題
 - ③ 次年度への施策の展開方針
- ・ 事業費
- ・ 総括評価（令和4年度、5年度評価）
 - ① 基本施策の達成度
 - ② 次期総合計画への方向性

1-1 総括評価（施策大綱評価）



1 多様性を活かした自治づくり

施策大綱1：持続可能な自治組織づくり

1. 町の基本方針

- ① 地縁の自治の枠を乗り越えて、そこに住むすべての人にとって居場所と役割のある自治組織のあり方を、住民と一緒に考えます。
- ② 住民の自治機能を補完する組織・団体が参画するための仕組みづくりを整備します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
自治機能を支える組織・団体の参画件数	件	0	1				2	町や各地域と地方創生包括的地域連携協定の締結する組織・団体の数とし、2年間で1件を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : -

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : -

1-1 基本施策評価

基本施策：1. 持続可能な自治組織づくりの推進

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：持続可能な自治組織を考える検討会

主要事業の概要：地縁の枠を超えた、幅広い自治の捉え方・持続可能な自治組織の在り方等について、住民とともに考える検討会・学習会を開催します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	生東区をモデル地区として、地域づくり懇談会を開催し、地域の実情を把握をした。課題は、コミュニティ活動の担い手不足である。 高齢化や人口減少等による自治組織の運営が困難化している現状を把握したことで、コミュニティ活動の支え手（集落支援員等）の設置について、町の支援策として検討した。	集落支援員について、どのような設置の仕方が持続可能なコミュニティ活動につながるか、その設置方法を検討する必要がある。	まずはモデル地区の生東地区に集落支援員を設置するとともに、他の地域への設置についても、その設置方法も含めて具体的に検討を進める。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	51,750	150	17,200	17,200	17,200
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	51,750	150	17,200	17,200	17,200

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：2. 人口減少や高齢化が深刻な集落への支援

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：人口減少や高齢化が深刻な集落への支援

主要事業の概要：中山間地域の自立分散型生産社会の仕組みづくり

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	VUILD(株)と地方創生包括連携協定を締結するとともに、「生きる」と「つくる」をつなぐ自立分散型社会の仕組みづくりのプロジェクト（MMMプロジェクト）を立ち上げて、高校生を対象に木材加工ワークショップを開催した。 立木の伐採体験と、地域の木材を使つてのアイデア模型づくりの実践活動を通じて、MMMプロジェクトへの共感と理解が深まった。	地域材活用等、具体的な実践活動を町内で幅広く行っていくとともに、そこに地域内外の若い世代の主体的な関わりを創出する仕組みを構築する。	旧東小学校を拠点として、地域活性化起業人及び地域おこし協力隊を設置し、町民や民間企業と連携したプロジェクトの推進に取り組む。また、長野県立大学と連携（学生インターン受入）し、プロジェクトの推進に取り組む。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	18,304	1,200	4,704	6,200	6,200
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	18,304	1,200	4,704	6,200	6,200

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

1－2 総括評価（施策大綱評価）



1 多様性を活かした自治づくり

施策大綱2：男女共同参画の推進

1. 町の基本方針

- ① 男女が平等に参画できる社会の実現を目指し、町民意識の啓発と実践をします。特に、自治組織への役員選出の啓発や審議会へ公募委員の枠拡大などの女性参画を推進します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
審議会への女性登用率	%	24.3	26.7				33.3	啓発活動による増を見込み、女性登用率を33.3%とします。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

1-2 基本施策評価

基本施策：1. 自治組織、審議会への女性参画の推進

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：地域やグループへの学習事業

主要事業の概要：男女共同参画地区推進員と共に地域やグループへの学習活動を行い意識啓発に努める。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地区推進委員との会議は行ったがコロナ禍で出前講座を行うことができなかった。女性団体連合会の協力で暮らしの知識を学ぶ講座「新型コロナウイルス感染症について」をチャンネルユーを通じて、男と女いきいき講座としてパラリンピアン講演会を行った。 パラリンピアン講演会は、中学校の事業で見てもらう計画である。人権問題としての視点からも学習していただける。	地区推進委員にご協力いただき出前講座を開催する。審議会の女性の登用については、町全体で考えていく必要がある。	新型コロナウイルス感染症対策を取りながら出前講座を開催してもらうよう区会・自治会に推進委員を通じて呼びかける。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	600	150	150	150	150
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	600	150	150	150	150

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

1－3 総括評価（施策大綱評価）



1 多様性を活かした自治づくり

施策大綱3：町政情報の共有

1. 町の基本方針

- ① 情報発信の方法やツールの見直しをして、積極的な情報発信をします（広報・SNS）。
- ② 適正な情報公開制度の運用をします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
町ホームページアクセス件数	件/月	11,313	13,199				12,400	SNS連携機能を活用することで、現状の10%増を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : ー

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : ー

1－3 基本施策評価

基本施策：１．効果的な情報発信と共有

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：広報「まつかわ」発行

主要事業の概要：町の特徴や旬な話題を発信する特集ページの作成、地域づくり活動の紹介など、多くの町民が登場する広報まつかわを発行します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域の動きや課題の投げかけ等を行う「特集」ページ、地域団体の活動等を紹介する「縁の下の力持ち」等、広報まつかわのページの充実化を図った。 広報紙紙面の充実化を図るとともに、より多くの町民が関わる広報紙となった。	単なる情報発信にとどまらず、より幅広い層に向けて効果的に情報共有を図ることのできる仕組みを構築する必要がある。	より効果的で積極的な情報発信を行うことができるよう、情報発信ツールや方法の見直しを行う。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	14,435	3,368	3,689	3,689	3,689
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	14,435	3,368	3,689	3,689	3,689

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：SNS発信

主要事業の概要：SNS利用者の多い若年層をターゲットに、ホームページとLINEの連携機能を構築して情報発信をします。そこで、Uターン希望者向けの情報も発信します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	新たに、松川町出身の大学生等の専用LINEアカウントを開設し、新型コロナウイルスに関する支援情報や、就職情報等のUIJターン情報を定期的に発信した。 これまでつながりの持てなかった10代後半から20代前半の世代への情報発信機能を構築することができた。	情報発信にとどまらないSNSツールの活用方法を考えるとともに、煩雑になっている情報発信手段の集約化も検討する必要がある。	行政手続きの電子化やペーパーレス化も含めた情報発信ツールの導入に向けた検討を行う。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	3,432	0	0	2,970	462
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	3,432	0	0	2,970	462

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 情報公開の推進

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：情報公開請求

主要事業の概要：情報公開請求条例及び個人情報保護条例に基づき、適切な運用を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	43件の情報公開請求があり、適切に情報公開処理が行えた。情報公開審査会委員の委嘱を行った。 開かれた町政の運営につながった。	情報公開請求制度だけでなく、日頃からの町政情報の共有の在り方についても考えていく必要がある。	引き続き適切な情報公開請求処理に努めるとともに、町政情報の共有の在り方についてまちづくり政策課が行う情報発信方法やツールの見直しとも連携して考えていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	52	13	13	13	13
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	52	13	13	13	13

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

1-4 総括評価（施策大綱評価）



1 多様性を活かした自治づくり

施策大綱4：時代にあった行政財産運営と行政サービスの推進

1. 町の基本方針

- ① 事務事業を見直し、バランスのとれた予算編成と効率的な予算執行を行うことで、持続可能で健全な財政運営を目指します。
- ② Society5.0（超スマート社会）等の社会変化や住民の多様なライフスタイルに応じた行政サービスの向上を図ります。あわせて、情報システムの最適化を推進します。
- ③ 職員の人材育成と適正な職員数を確保します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
経常収支比率	%	87.1	81.2				87.1	過去3年で一番高い数値を上限として、それ以下を目指します。
将来負担比率	%	-15.6	-17.4				0.0	上昇傾向にある状況を鑑み、現状の水準を維持します。
財政調整基金残高	百万円	1,015	900				815	適正規模とされる標準財政規模（H30：4,077百万円）の20%以上を維持します。
マイナンバーの普及	%	6.6	20.9				85.9	国のマイナンバーカード交付円滑化計画に基づく取得率を目指します。
町税の現年度収納率	%	99.3	96.8				99.0	コンビニ収納を行うことによる納税者の利便性を高め、収納率を維持します。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

1-4 基本施策評価

基本施策：1. 財政健全化の推進

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：「くだものの里まつかわ」応援寄附金事業（ふるさと納税事業）

主要事業の概要：新たな自主財源の確保と、寄附をきっかけとした関係人口を増加させるため、（一社）南信州まつかわ観光まちづくりセンターと連携して「くだものの里まつかわ」応援寄附金を募集します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	管理業務委託先（観光まちづくりセンター）と連携を取りながら、魅力ある特産品を提供することで、当初の目標であった1億円を超え、過去最高額の1億3千万円を超える寄附金を集めることができ、自主財源の確保に寄与することができた。 特定財源である寄附金をこれまで以上に集めることで、一般財源を抑制することにつながり、財政の健全化に寄与することにつながった。	自主財源確保のため、引き続き魅力ある返礼品を企画していく必要がある。継続的に寄附してもらえる仕組みづくり、寄附をきっかけに町に興味をもってもらえる仕組みづくりを進める必要がある。返礼品を提供するだけでなく、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税などの新たな手法による寄附募集にも取り組んでいく必要がある。	人気のある特産品を効果的にPRするだけでなく、寄附金の用途についても、興味を持ってもらえる内容を提供し、寄付者の増加につなげる。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	271,883	83,402	88,481	50,000	50,000
特定財源（特財）	271,883	83,402	88,481	50,000	50,000
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：行財政改革

主要事業の概要：持続可能な財政運営を行う為、歳入の確保と歳出削減を目的とした事業の見直しと仕事の仕方改革に取り組みます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	新型コロナウイルス対策を優先事項としたことから、具体的な事業の見直し作業等は実施できなかったが、感染症対策事業やリニア対策事業など緊急に対応しなければならない事業を迅速かつ確実に実施することにつながった。 経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率とも前年度より改善し、目標指標で目指す数値の確保はできた。	健全な財政運営に努めつつも、新型コロナウイルス感染症対策事業に注力していく。	各課に事業の必要額と歳入確保の意識を持ってもらうとともに、事業のPDCAサイクルを意識しながら予算査定を実施していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：2. 利便性の高い行政手続きの推進

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：各種証明書のコンビニ交付

主要事業の概要：マイナンバーカードを使って、全国のコンビニにあるキヨスク端末から証明書の交付を受けることができる。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	令和2年度は、住民票、印鑑証明、戸籍証明、戸籍附票、所得証明を、合わせて令和2年度は239通をコンビニエンスストアで交付した。 平日の業務時間内に役場まで住民票の写し等各種証明書の取得のために来庁できない町民にとって、最寄りのコンビニエンスストアで取得できるという利便性を生かし利用が徐々に利用が増えている。	コンビニ交付に必要なマイナンバーカードの普及率が約21%と低い状況であり、カードの更なる普及が不可欠である。	コンビニ交付等の利便性を根気よくPRし、マイナンバーカードの申請及び利用を呼びかけ、利用率の向上を図る。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	20,988	5,198	5,894	4,948	4,948
特定財源（特財）	5,546	2,599	2,947	0	0
一般財源（一財）	15,442	2,599	2,947	4,948	4,948

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：コンビニ収納の運用

主要事業の概要：コンビニ収納業務運営。

住民税（普徴）、固定資産税・軽自動車税・国保税（普徴収）の納付書発送。収納代行業者からの速報、確報の受信。リームスへの反映。苦情対応他。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	4税目の延納付回数52,087回に占めるコンビニ納付のは、5,850回であり全体の11%となった。（出納閉鎖時） 閉庁時にも納付ができる環境が整い、利便性の高い行政手続きの実現に一定の効果が得られた。	電子マネーでの納付もできるようになったことから、口座振替を納付書による納付に変更する納税者も見られたが、推奨すべきは口座振替であり、そちらの割合を維持しつつ利便性を高めることが課題。コンビニ納付の開始により、従来の納税通知と比べ、レイアウト等がわかりづらくなっている側面もある。	利便性の向上が主な方針ではあるが、見やすさと封入しやすさも追求し、レイアウトの変更や機械封入の導入を検討していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

（単位：千円）

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,920	393	509	509	509
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	1,920	393	509	509	509

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：コンビニで納付できる納付書の作成発行

主要事業の概要：コンビニで納付できることにより、サービスと納付率向上を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	上下水道料金の納付書発行枚数5,090枚のうち、コンビニ納付は2,228枚であり、全体の43.8%であった。 閉庁時にも納付ができる環境が整い、利便性の高い行政手続きの推進に一定の効果が得られた。	電子マネーでの納付もできるようになったことから、口座振替から納付書に変更する使用者が一部みられた。推奨すべきは口座振替であるため、口座振替利用者の割合を維持したい。	閉庁時だけでなく、遠方の納付者の利便性向上にも効果がみられるため、引き続きコンビニ納付を継続して実施する。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	600	37	271	146	146
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	600	37	271	146	146

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：地方税共通納税システムと併せた電子申告サービスの運用

主要事業の概要：令和元年10月より始まった地方税共通納税システムと併用することで利便性が向上することを周知し、電子申告利用を促す。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地方税共通納税システムは、町県民税の特別徴収を中心に利用数が増加してきている。 （特別徴収の1割弱が共通納税システム） 給与支払報告書も半数が電子データでの送信となっている。 利便性能向上にもつながっているが、同時に入力時間軽減にもつながっている。	個人の電子申告者をどのように増やしていくかが課題。	電子申告者が増加するよう、広報や事業を税務署と共同で行う。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	11,189	2,828	2,787	2,787	2,787
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	11,189	2,828	2,787	2,787	2,787

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 情報システムの最適化

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：AI／RPAの導入検討

主要事業の概要：AIによる現状業務の解析を実施し、RPA化対象事業の選定を行います。
RPAの導入及び業務改革により業務の効率化、コストの最適化を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	先端技術活用推進協議会及びスマート自治体推進WGに入会し、児童手当の現況手続きのAI-OCR化の実証実験を実施した。 AI-OCRの共同利用により、業務の効率化とコストメリットの両立の可能性を検証した。	共同利用を前提とする場合、帳票や事務処理の標準化を進める必要がある。	自治体行政スマートプロジェクトに参画し、実用可能な帳票、業務プロセスについて、県内4市町で検証する。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

1-5 総括評価（施策大綱評価）



1 多様性を活かした自治づくり

施策大綱5：移住定住の促進

1. 町の基本方針

- ① 急激な人口減少は、社会的・経済的な課題が急速に深刻化することから、移住・定住支援に関する事業の充実化を図り、人口の急激な減少の緩和を図ります。
- ② 若者が地域と関わり、自然資本、文化資本、社会関係資本（人と人とのつながり）を活かした暮らしや働き方のできる仕組みづくりを推進します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
高校生のフィールド ワーク参加者数	人	0	36				40	10人/年×4年間＝40人（延べ人数）を見込みます。
空き家情報バンクの 成約率（令和2～5年 度まで）	%	35.6	31.9				50.0	現状の15%増加を見込みます。
移住促進住宅利用 者が松川町へ定住 する割合	%	100	100				100	利用者すべてが定住につなげます。
UIJターン就業・創 業移住支援事業に よる移住者	%	0	0				12	3人/件×4年間＝12人を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

1-5 基本施策評価

基本施策：1. 若者と地域をつなぐ仕組みづくり

【関連する基本方針】：基本方針①、②

主要事業：高校生 地域フィールドワーク

主要事業の概要：高校生が地域の活動や魅力を知る機会や、魅力的な大人に出会う機会をつくるためのフィールドワークを実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	高校生を対象とした地域フィールドワークを11月に実施し、36名が参加した。コストリカ・スタディツアーは新型コロナウイルスの影響で中止とした。 高校の選択科目を活用した取り組みとすることで、高校生の松川町内でのフィールドワークが定着してきた。	コロナ禍でこれまでのようなフィールドワークが困難になることも予測されることから、オンライン等の活用も取り入れて、高校生と地域の交流の幅を広げたフィールドワークの方法を検討する。	高校や長野県教育委員会、民間事業者等とも連携して、新たな高校生の学びの場を創出していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	5,538	158	4,980	200	200
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	5,538	158	4,980	200	200

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：若者が地域と関わるための公民連携プラットフォームの構築

主要事業の概要：SDG s による協働やローカルベンチャーの推進等、民間や他自治体と連携して若者と地域をつなぐためのプラットフォームをつくります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	長野県立大学とともに、地域と若者をつなぐためのプロジェクト参加型インターンシップ制度を構築して、松川町民と若者のつながり作りに取り組んだ。 インターンシップ活動がきっかけとなり、松川町をフィールドとして、若者自身の主体的な取り組みが新たに始まった。	若者定住の観点から、地域資源を活かした生業等、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス等の創出へのアプローチが必要である。	引き続き長野県立大学とともにインターンシップのプロジェクト設計を行い、地域資源を活かした生業の創出も踏まえた活動展開へ発展させていく。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,200	300	300	300	300
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	1,200	300	300	300	300

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 空き家を活用した定住支援

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：空き家情報バンク

主要事業の概要：空き家の有効活用のため、住まいとして利用可能な空き家情報の発信を行います。また、県宅建協会と連携し、所有者と利用希望者とのマッチングを行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	（一社）長野県宅地建物取引業協会と連携し、空き家情報の発信と、移住相談を定期的に実施した。 （一社）長野県宅地建物取引業協会と協定締結以降、新規登録物件数は増加した。	登録物件数が増える一方で、成約率は31.9%にとどまっている。また、登録物件数は多くなってきたが、売買・賃貸の案内が可能な物件数が少ない現状がある。	産業観光課の新規就農支援等、課の枠を越えた取り組みにより、空き家バンクを活用した定住につなげる。また、空き家バンク登録物件の掘り起こしを行う。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	800	200	200	200	200
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	800	200	200	200	200

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：3. 移住希望者支援

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：移住体験住宅事業
移住促進住宅事業

主要事業の概要：松川町へ移住を検討・希望する方向けに、田舎での暮らしの体感をしてもらうため、住宅の貸し出しを行い、あわせて、住まいや仕事探し等の移住の支援をします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	移住希望者向けに移住体験住宅と移住促進住宅を貸し出した。 新規就農者の定住支援等も踏まえ、移住促進住宅の利用期間を3年から5年へ延長した。 新型コロナウイルス緊急事態宣言発令等の影響で、移住体験住宅の閉鎖期間が長くなり、利用者の定住にはつながらなかった。	定住に結び付けるために、体験住宅・促進住宅の利用者それぞれのニーズにあった相談・支援を行う必要がある。	体験住宅・促進住宅の利用者の移住相談の機会を定期的に設けていく。 また、コロナ禍で実際に住宅を利用したくてもできない方向けのオンラインを活用した相談会を実施する。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	2,576	644	644	644	644
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	2,576	644	644	644	644

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：UIJターン就業・創業移住支援事業

主要事業の概要：三大都市圏からの移住者で、県の求人マッチングサイトを利用しての就業や地域課題解決に資する社会的事業の創業者に移住経費を助成します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	創業支援事業等についての相談はあったが、UIJターン就業・創業移住支援事業に当てはまる案件はなかった。 対象者（移住者）の増として、リニア時代を見据えた、または、ウィズ・アフターコロナ時代に対する検討は必要である。	マーケティングと広報の方法を考える必要がある。	対象者（移住者）の増として、リニア時代を見据えた、または、ウィズ・アフターコロナ時代に対する検討は必要である。	1 (50%未満)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	860	160	160	220	320
特定財源（特財）	430	80	80	110	160
一般財源（一財）	430	80	80	110	160

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

2-1 総括評価（施策大綱評価）



2 安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づくり

施策大綱1：子どもの育ちの切れ目ない支援

1. 町の基本方針

- ① 関係機関や地域と連携して、妊娠期からの切れ目のない子育て支援体制の整備と推進をします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
両親学級参加率	%	23.2	17.1				24.0	現状維持を目指します。
乳幼児健診参加率 (4ヶ月、1歳半、3歳)	%	99.0	98.7				99.0	現状維持を目指します。
町内保育園の運営	園数	5	5.0				5.0	園ごと特色ある保育を継続して行います。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

2-1 基本施策評価

基本施策：1. 妊娠期からの切れ目のない支援体制の構築

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：両親学級の開催

主要事業の概要：母子手帳交付後、妊娠前期と後期の2回、両親学級を開催します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	両親学級を5回開催した。1回は新型コロナウイルスの影響で中止した。初産婦の参加率はR1年度28.1%に比べて24.4%と低下した。初産婦はまだ、働いている人も多いため、今年度から始める妊婦訪問、母子モ等で周知を徹底していく。 R2年度から沐浴指導や赤ちゃんの抱っこの方法を加えて実施した。また、病院の妊婦健診内容にはない食事指導や体重管理について学習した。妊娠期の母親と支援する保健師等をつなぐ体制づくりのきっかけになっている。	病院でも妊婦さんにたいしての教室を実施しているため、町でしか聞けない両親学級を実施し、参加者が増えていくようにしていく。	妊婦訪問や、母子モ等で両親学級の紹介をし、参加者が増えるように工夫する。コロナ禍においても、両親の状況に寄り添った開催方法を検討する。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	296	116	120	30	30
特定財源（特財）	148	58	60	15	15
一般財源（一財）	148	58	60	15	15

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 乳幼児期の健やかな成長の土台づくり

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：乳幼児健診の開催

主要事業の概要：乳幼児の発達・発育の状況を保護者や仲間と共有できるよう、乳幼児健診を開催して、個別相談及び集団学習を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	乳幼児健診を86回開催し、延べ570人の参加があった。新型コロナウイルスの影響で5月、6月は回数を減らしたが、あとは予定どおり行えた。また、新型コロナウイルスの影響で、離乳食の試食の回数が減少したため、食事の相談が多かった。 新型コロナウイルスの影響で、乳幼児健診ができない場合を踏まえて、ZOOM相談を始めた。まだ、利用はないが、今後の感染拡大に備えて、ZOOMや母子モ等のツールを使って保健指導ができるようにしていく。	核家族が増え、地域とのつながりが希薄な中、子育てを孤独にしている母親が増えている。その中で、乳幼児健診やおひさまの事業で母親同士のつながりを作る機会が必要である。	引き続き、乳幼児健診を実施する中で、集団学習やおひさまの行事等で母親同士のつながりができるように事業を展開していく必要がある。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	5,168	1,404	1,500	1,132	1,132
特定財源（特財）	2,584	702	750	566	566
一般財源（一財）	2,584	702	750	566	566

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 地域と連携した子育てネットワークづくり

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：子育て支援センター「おひさま」の運営

主要事業の概要：子育て家庭に対する育児不安などについての相談指導及び、子育てサークルへの支援を実施します。

地域高齢者など様々な年齢層との世代間交流や、地域に出向いた子育て支援活動にも取り組みます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	新型コロナウイルスの影響で4月、5月の利用者は減ったが、年間を通しての利用者は、3,836人だった。1日平均の利用者数は、11.8人で、新規登録者数は75名だった。 通常の利用者に加えて、季節の行事に合わせたイベントの開催や、月例に合った教室を開催し、親子あそびや情報提供の場となっている。	育児不安や体験不足により、母子関係が悪化するケースが増えている中で、母子ともに孤立や不安を抱え込まないように相談の場としても位置づけていくことが重要である。	おひさまの利用者を増やすために、母子モやLINE登録を推奨し、育児不安の軽減をしていく。また、各種イベントの情報を、母子モや広報、チャンネルYOUで発信していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	86,240	21,560	21,560	21,560	21,560
特定財源（特財）	34,240	8,560	8,560	8,560	8,560
一般財源（一財）	52,000	13,000	13,000	13,000	13,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：4. 各園の特徴・資源を生かした保育園づくり

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：福与保育園「やまほいく」

地域住民との交流や立地条件を活かした保育

主要事業の概要：「やまほいく」として、自然に親しむ保育を行います。

あわせて、地元のクラブや施設などでの高齢者との交流や、地元行事への参加など、その地域の特色を生かした保育に取り組みます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	【福与保育園】 ジャガイモや玉ねぎなどの野菜の栽培を一緒に行うことで「福与保育園勝手に応援し隊」の皆さんとの交流を行った。 円満坊への散歩や部奈の森での自然体験を行った。 【他4園】 地域の皆さんに「畑の先生」になっていただき、畑や果樹園での活動を通して交流を行った。 【福与保育園】 森での自然体験を行う際に、地域の皆さんが見守り隊として同行してくれたことで、子どもたちの活動の場が広がった。 【他4園】 地域の方のご厚意で果樹園や田んぼでの活動を行ったことで、地域とのつながりや活動の場が広がった。	地域の方や小中高校などとの交流を行う頻度など、どちらにも無理のかからない計画を立てる必要がある。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を行いながら、密にならない活動を検討し、少しでも地域交流を取り入れていく。 地域の方たちとのつながりを継続していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	632	158	158	158	158
特定財源（特財）	564	141	141	141	141
一般財源（一財）	68	17	17	17	17

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：5. 保育園と小学校の「学び」と「発達」の接続

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：就学に向けての「保小連絡会」

子どもの育ちを共に考える「保小意見交換会」

主要事業の概要：「保小連絡会」で情報交換を行い、就学に向けた支援をしてまいります。
あわせて、保小の職員でそれぞれの保育・授業を参観し、それを基にした保小意見交換会を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	【保小連絡会】 保育園職員による小学校一年生の授業参観、小学校職員による保育参観を行った後、支援の継続などの情報交換を行った。 【保小意見交換会】 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【保小連絡会】 町の心理士と保育園の担任が小学校のクラス分けの案を作り、保育参観での様子や就学相談委員会の結果を踏まえ、小学校の職員とすり合わせを行いクラス編成を行った。	スタートカリキュラムを用いながら、保育園での幼児期の教育から小学校教育へ円滑な接続をするため、保育園と小学校との間の連携が重要である。	小学校一年生の授業参観を基に保小意見交換会を行い、子どもにとって最適な支援や活動について話し合う。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

2-2 総括評価（施策大綱評価）



2 安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づくり

施策大綱2：探究的・主体的な学び

1. 町の基本方針

- ① 小中学校の児童生徒の探究的・主体的な学びを育むため、学力の定着と情報化等社会変化に応じた教育のための学習環境を整備します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
中学校生徒向けの教育用コンピュータの整備	台/人	1台 /3.44人	1台 /1人				1台 /1人	中学校については教育用コンピュータの整備率を引き上げ、国の目標基準を達成します。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : ー

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : ー

2-2 基本施策評価

基本施策：1. 基礎学力をつけるための少人数学習や補充的な学習サポート

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：地域未来塾「てらこや松中」事業

「算数指導員、英語指導員」配置事業

主要事業の概要：基礎学力の向上のため、少人数学習による学習サポートをします。

「算数指導員、英語指導員」を町費にて雇用し、小学校に配置し学習の補強を行う。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	毎週水曜日に数学・英語の補修講座として開催した。新型コロナウイルス感染症の休業明け6月から2月まで行った。2期合わせて53人の生徒の登録があった。 生徒のアンケートには学力があがり、勉強が楽しくなったなどの実感が寄せられている。	オンラインでの開催は、講師の確保が課題である。	新型コロナウイルス感染症対策を講じた中で、対面での開催を検討する。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	28,583	6,806	7,259	7,259	7,259
特定財源（特財）	600	150	150	150	150
一般財源（一財）	27,983	6,656	7,109	7,109	7,109

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：2. 教科の学習目標を達成するためのICTの活用

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：令和5年度までに中学校の児童生徒に対しタブレット端末を整備

主要事業の概要：中学校の児童生徒に対しタブレット端末を1人1台整備してまいります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	GIGAスクール構想実現のため、校内LAN整備を3月末に完成させ、児童生徒一人1台タブレット端末整備（中学校購入238台、リース127台）を完了した。 児童生徒、教員がICT教育に取り組む環境が整った。	タブレット端末等ICT機器を有効活用するための支援をする必要がある。	ICT支援員を配置し、タブレット端末を活用するためのルールづくり等、児童生徒及び教職員がタブレット端末等ICT機器を有効活用するための支援をする。デジタル教科書等を教師や児童生徒に使い慣れてもらうための支援を行う。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	20,024	20,024	0	0	0
特定財源（特財）	10,710	10,710	0	0	0
一般財源（一財）	9,314	9,314	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：3. 目的意識や挑戦心を持って自律的に学ぶ児童生徒の育成

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：定例教育委員会及び学校訪問事業

主要事業の概要：定例教育委員会及び教育委員による学校訪問事業を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	教育委員会定例会を毎月（12回）及び臨時会（3回）を開催し、教育関係の方針等の審議をいただき、教育施策への反映を行うことができた。学校訪問指導（2回）実施し、教職員の指導体制や、学校施設環境整備に向けた施策への反映を行うことができた。 学校訪問（授業参観等）を通じて、指導方法の調整や教育委員会の重点取り組みへの理解を図ることができた。	ICT利用環境など、学習環境の整備等に対する課題はあるが、現状での有効活用を行いながら順次整備を検討していく必要がある。	学校訪問（授業参観）を重点的に行うことで、学習環境整備や施設環境改善等検討し、児童生徒、教職員が一体となった取り組みを進める。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

2-3 総括評価（施策大綱評価）



2 安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づくり

施策大綱3：地域とともに育てる学校づくり

1. 町の基本方針

- ① 地域全体で子どもを育てるため、地域と協働し地域に開かれた学校づくりを推進します。
- ② 一層の少子化を迎える、これからの時代の学校運営を地域と共に考えていきます。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
学校運営を応援する 地域組織との連携	組織数	3	3				3	各小中学校あたり1組織を継続していく。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

2-3 基本施策評価

基本施策：1. 地域と学校の相互交流

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：学校運営を応援してくれる地域組織との連携

主要事業の概要：地域に開かれた学校教育推進のため、学校応援団など学校運営を応援してくれる地域組織と連携した取組みを行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	各学校を支援していただいている応援組織と、地域や各応援組織を町全体で考えていく組織を検討し、準備会を行った。 教育懇談会を開催し、各学校間の連携のための組織づくりに理解をいただいた。	地域連携のための学校要望等に対し、コーディネートの役割分担を明確化し、支援体制の仕組みづくりを行う。	保育園・小学校・中学校運営協議会として、地域・学校・町が一体となった協議会となるよう進めていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：学校のあり方についての検討会

主要事業の概要：少子化時代の活力ある学校運営に向け、地域関係者などを含めた学校のあり方についての検討会、講演会を開催します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	教育懇談会を開催し「明日を担う子どもを育む懇話会」を開催し、地域と学校の連携について意見をいただいた。成長を支える仕組みづくりに取り組むことで共通認識を行った。 松川町の保育園小中学校を一つの学園として考え、地域の関わり方、学校間の連携づくりに必要性が出された。	地域連携や学校間の連携、応援組織を含めた、学園化として意見交換を持ち、学校・保育園のあり方を検討していく。	「育てる子ども像」を明確にし、地域の関わり方、応援組織の関りなど、保育園・学校に関心を持っていただく体制づくりをめざす。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	263	0	163	50	50
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	263	0	163	50	50

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

2-4 総括評価（施策大綱評価）



2 安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づくり

施策大綱4：学びが循環する社会づくり

1. 町の基本方針

- ① 地域の生活に根差した公民館活動の推進をします。
- ② 図書館利用を促し、読書活動を推進します。
- ③ 郷土資料の整理を行い、情報を発信して探究活動を推進します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
中央公民館の年間延べ利用団体数	団体	2,482	2,457				2,600	5%の増加を見込みます。
町内人口一人当たり貸出冊数	冊	8	9				8	現状維持を見込みます。
企画展示・講座（学習会）開催数/年度	回	7	5				8	年1回の増加を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : ー

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : ー

2-4 基本施策評価

基本施策：1. 公民館を拠点とした社会教育の充実

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：本館三部（社会部・体育部・編集部）による専門部事業
 まつかわ大学・高齢者講座など学習事業
 8地区でそれぞれ実施される地区公民館事業
 サマーチャレンジまつかわ

主要事業の概要：専門部事業を支援し、広く町民に生涯学習・地域学習にふれる機会を創出します。町民の学習ニーズを反映した学習講座を開催します。地域コミュニティの中核である地区公民館に対し、補助金や事業相談などの支援をまいります。公民館を活用したサマーチャレンジまつかわを開講し、こどもの居場所、挑戦する心の醸成をいたします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	コロナ禍で多くの学習活動が制限された。合同部員会、館長主事会を開催し、相互の情報交換の場を設定し、次年度へ向けての話し合いを行った。 地区公民館の活動も工夫をされたが多くの公民館で行事中止になり、補助金の返還の検討を行った。 サマーチャレンジまつかわの代替として開催したマナビバオンラインは月上旬で全講座を終了。2月には英検Jr.（7名受検）・算数検定（17名受検）を行った。	第1として、コロナ禍でも事業を再開していくこと。公民館を中心としてオンライン講座はできたが、個々の自宅のIT環境が整っているとは限らない。実際、公民館研究集会では、オンライン講座の体験会を行いたいという希望が若い部員の中から発せられている。 地区館の活動の事業の継続性が課題であり、新しい在り方を検討していく必要がある。	コロナ以前のイベントを再開できるよう、専門部員とともに進める。 地区公民館の支援を行う。 マナビバオンラインの継続として、令和3年度は対面での開催を進める。	3 (80%以上)
	100人規模で開催できた講座としてまつかわ大学があるが、コロナ禍で感染症対策を取った行事として後発の行事の基本的なスタイルとすることができた。 新たにオンラインでの講座を開催することにより、いろいろな可能性があるということが発見できた。			

R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	99,545	24,845	24,900	24,900	24,900
特定財源（特財）	7,988	1,988	2,000	2,000	2,000
一般財源（一財）	91,557	22,857	22,900	22,900	22,900

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：社会教育関係団体 審査/認定事業町民自主企画講座 事業

主要事業の概要：自主的活動を行うサークルに、社会教育関係団体の認定を行い、活動の支援をします。

サークルまでは至らないが、自主的活動を望む者に対して、活動の企画・運営協力や仲間づくりの支援を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	社会教育関係団体として4団体を認定した。 活動を望む方たちの支援をすることはできたが、コロナ禍で新たな活動を望む声は少なかった。	活動を行いたい方のニーズと合ったサークルを社会教育関係団体のなかからマッチングが難しい。	令和3年度は3年に一度行う社会教育関係団体の認定更新を行う。新たなリストをHPでも紹介したい。自主企画講座を大切にしていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 利用者の思いや学びに寄り添った図書資料の充実

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：図書館運営事業

主要事業の概要：魅力ある図書館運営を行うため、蔵書や資料選択を充実させ、利用者サービスの向上に取り組めます。

各種講座を開催し、読書や生涯学習に興味を持つ機会を提供します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	R2年度は、貸出冊数10万冊達成。所蔵資料の点検整理、入替えを例年以上に行った。新型コロナウイルス感染防止対策により、図書の貸出を現地集合解散、行事等の中止・延期により行った。 読み聞かせや工作の行事をスタンプカードイベント、お便り配布に切換え、広い部屋を利用し開催した。読書旬間で除籍本の還元を行った。	図書館資料館は築30年以上経過し、長寿命化計画により対策が必要な施設ある。こどもの来館が著しく少なくなっている。学校側との連携も必要である。	小中学校の図書館司書とも現状を把握するための連絡会を実施する。図書館車を有効に活用し、図書館をアピールしていく。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	74,718	18,618	18,700	18,700	18,700
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	74,718	18,618	18,700	18,700	18,700

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：南信州図書館ネットワーク事業

主要事業の概要：南信州図書館ネットワークシステムを運用し、松川町、飯田市、高森町、豊丘村、喬木村間の貸借により利用者のニーズにあった資料を提供します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	南信州図書館ネットワークシステムを運用し、松川町、飯田市、高森町、豊丘村、喬木村間の貸借を行った。 南信州図書館ネットワークシステムにより、市町村間にて利用者のニーズにあった資料を提供した。	各市町村との連携強化をシステムのみならず職員間においても連絡を取り、有効的な図書の貸出を行うことが課題である。	令和4年度のシステム更改に向けた対応を進める。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	12,588	3,147	3,147	3,147	3,147
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	12,588	3,147	3,147	3,147	3,147

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 歴史に学ぶ地域づくりと魅力ある資料館運営

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：歴史・伝統文化継承事業

主要事業の概要：地域史料の収集、整理、保管を行います。所蔵資料の展示、学習会を通じ郷土への探究心と愛着心を育ててまいります。
伝統芸能の保存について支援を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域史料の収集、整理、保管を行う。 所蔵資料の展示、学習会を通じ郷土への探究心と愛着心を育む。 伝統芸能の保存について支援する。 歴史的史料の収集・整理・保管により新しい出土品等の入替えを行った。 伝統芸能の調査により保存への支援を行った。	遺跡発掘により新たな出土品の調査・保存を行うことが課題である。	宮ヶ瀬橋架橋に伴う「一の刎堤防」他発掘展示を行う。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	385	85	100	100	100
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	385	85	100	100	100

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：副読本「わたしたちのふるさと松川町」活用事業

主要事業の概要：公民館「地域を知る講座」を広げ、副読本の内容を題材にした講座を開催します。あわせて、HPを充実し、副読本について、広く情報発信を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	公民館「地域を知る講座」を広げ、副読本の内容を題材にした講座開催。HPを充実し、副読本を広く情報発信した。 公民館「地域を知る講座」に関わる副読本は講座受講者以外にも好評である。企画展「飯田線上片桐駅100年」、民具展示は、小学校の社会科で実施活用した。	ふるさと副読本を積極的に活用した活動を展開していくこと。	配布された小学生に対して、総合的な学習の時間等を通じて郷土をより学んでもらえるようにする。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	2,960	740	740	740	740
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	2,960	740	740	740	740

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

3-1 総括評価（施策大綱評価）



3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり

施策大綱1：健康な暮らしづくり

1. 町の基本方針

- ① 重症化予防を基本とした、身体と心双方の健康づくりを推進します。
- ② 地域における健康学習の支援を推進します。
- ③ 平成30年度より県単位化した国民健康保険事業の健全な運営をします。
- ④ 健康の維持増進のため、体育活動の推進をします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
特定健診受診率	%	67.5	57.4 (R3.3月末)				67.5	現状維持を目指します。
健康学習会の開催	回	78	21				78	現状維持を目指します。
一人あたり医療費	円	298,727	300,205 (見込み)				298,727	現状維持を目指します。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

3-1 基本施策評価

基本施策：1. 健康な身体づくり

【関連する基本方針】：基本方針①、④

主要事業：特定健康診査事業

主要事業の概要：飯田下伊那の医療機関や町内医療機関とも連携しながら、松川町国保加入者の40～74歳の方に対して、特定健診事業を実施します。保健指導を柱としながら、受診勧奨も進めてまいります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	令和3年3月末の特定健診受診率は57.4%であった。新型コロナウイルスの影響による病院離れが大きく影響しているため、感染状況をみながら令和3年度は集団健診を実施し、受診率を上げていく。 新型コロナウイルスの感染が拡大したため、集団健診が4日間実施できなかった。感染状況が落ち着いている時は、健診未受診者に対し、定期的に受診勧奨の電話等ができ、57.4%の受診率は確保できた。	特定健診のリピーター率（R1とR2共受診）が72.3%と上昇した。特定健診結果に異常がない人にもできるだけ訪問等で結果を返している影響もあるので継続して受けてもらえるように保健指導も質を高めていく。	保健指導の質の向上を図るため、各種研修に積極的に参加する。また、R2年度に重症高血圧だった人に対して、管理台帳を作成し、優先的に受診勧奨をしていく。今まで受診していなかった方に対しても定期的な電話勧奨をしていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	49,728	10,104	13,208	13,208	13,208
特定財源（特財）	49,728	10,104	13,208	13,208	13,208
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：スポーツの推進と環境の整備

主要事業の概要：スポーツ推進委員等と連携し、体力維持増進を図ることのできるスポーツイベントの企画・実施に併せて、スポーツ環境の整備をします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	スポーツ推進委員等と連携し、体力維持増進の生き生きウォーキング、トランポリン教室、ボッチャを実施した。 ボッチャをこどもたちに知ってもらえることができ機会ができたことにより、競技性が低く、皆が楽しめるスポーツの普及につながった。	新型コロナウイルス感染予防策を講じたイベント開催方法を検討していく必要がある。	コロナ禍であっても、対策を講じたうえで、少人数でもスポーツイベントを実施していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	248,056	67,278	59,778	60,500	60,500
特定財源（特財）	24,265	19,765	1,500	1,500	1,500
一般財源（一財）	223,791	47,513	58,278	59,000	59,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2.心の健康づくり

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：自殺対策関係機関連絡会議の開催と自殺対策・精神福祉相談窓口の開設

主要事業の概要：「いのち支える松川町自殺対策基本計画」推進のため、自殺対策関係機関連絡会議を開催します。あわせて、住民の悩みや相談できる場所として「自殺対策・精神福祉相談窓口」を開設します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	自殺対策基本計画で自殺者数を1.5人（H31～R5年平均値）に抑える目標をたてたが、実際には4人（R1～2年平均）と大きく上回った。自殺対策関係機関連絡会の開催や、相談窓口の開設等の対策をとったが、目標値を大きく下回る結果となった。 自殺対策関係機関連絡会の開催により、各機関の相談状況や情報交換ができ、様々な課題があることがわかった。また、伊那大島駅と上片桐駅で、自殺相談窓口の電話番号を書いたティッシュを配布し、相談窓口の周知をした。	自殺者の経過を分析すると、どこにも相談機関に相談せずに亡くなったケースがほとんどのため、関係機関との連携強化とともに、家族や住民が自殺予防ができるように周知を徹底していく必要がある。また、いわゆるゲートキーパーを増やしていくことも必要である。	引き続き関係機関の連携と、住民の方に向けた自殺予防の学習会や相談窓口周知をしていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	3,968	992	992	992	992
特定財源（特財）	1,992	498	498	498	498
一般財源（一財）	1,976	494	494	494	494

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：３.地域における健康学習の支援

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：健康学習会の開催
健康を考える集会の開催

主要事業の概要：町の健康課題の共有と課題解決に向けて、健康推進委員会を開催します。また、自治会で開催する健康学習会や、健康を考える集会など住民主体の健康学習を支援していきます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	新型コロナウイルスの感染拡大により、健康学習会の開催回数が減り、健康を考える集会は中止としとなったが、主体的に学習したい意欲があったため、感染が落ち着いた際に学習した内容は、免疫力をつけるというテーマが多かった。 健康を考える集会は、44年という長い歴史があるため初めての中止で戸惑った点もあったが、今後の新たな参加の増やし方や、今まで学習の機会が少なかった免疫について住民と学ぶことができた。	健康を考える集会や健康学習会の参加者が固定化している傾向がある。また、健康学習会の生活習慣病のテーマが多かった。	新たに参加する人が増えるように、SNS等で健康学習会の周知の工夫していく必要がある。また、内容についても心の健康や、歯周病予防、免疫力のテーマも学習していく。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：4. 国民健康保険事業の健全な運営

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：下伊那赤十字病院運営費補助

主要事業の概要：地域医療確保のため、公益法人等が開設した公的病院等に対し、運営費の一部が特別地方交付税で措置されることに伴い、下伊那赤十字病院に対して補助を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	日赤のあり方検討会で、貸借対照表と、損益計算書により運営状況の確認と補助のあり方について検討した。新型コロナウイルスの影響で、医業収益は減少し、今後の経営状況は悪化が続いている。 貸借対照表と、損益計算書から、医業収入の減少が著しいことがわかった。中でも、入院患者の減少や、常勤医（産婦人科医）の減少による収入が減った。	常勤医の確保が課題となっているため、引き続き医師の確保を行っていく必要がある。新型コロナウイルスのワクチン接種により、医業収入が増加できるように、体制整備が必要である。	常勤医確保と、新型コロナウイルスのワクチン接種により医業収入を安定させる。また、毎年貸借対照表と損益計算書により、運営改善を共に考えていくとともに、補助金のあり方について検討していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	407,929	101,983	101,982	101,982	101,982
特定財源（特財）	326,344	81,586	81,586	81,586	81,586
一般財源（一財）	81,585	20,397	20,396	20,396	20,396

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

3-2 総括評価（施策大綱評価）



3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり

施策大綱2：食育の推進

1. 町の基本方針

- ① 様々な立場の関係者と連携して、「健康」「教育・文化」「産業」「環境」等総合的な視点から食育の推進をします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
メタボリックシンドローム対象者の割合の減少	%	男性 23.5 女性 7.1	男性 24.1 女性 7.6				男性 23.0 女性 7.0	目標値は、成人健診受診者に占める割合とし、現状の維持を見込みます。
朝食を毎日食べる園児・児童・生徒の割合	%	93.8	—				95.0	保育園・小学校・中学校の平均値。1.2%増を見込みます。
学校給食で使う主要品目の野菜における環境に優しい農業による松川町農産物の利用量(kg)の割合	%							一坪農園を活用した有機農業の推進による増加を見込みます。 基本方針5 施策大綱1 「持続可能な農業の推進」関連事業
じゃがいも	%	0.0	24.7				50.0	
にんじん	%	0.0	7.0				30.0	
ネギ	%	0.0	47.5				35.0	
玉ねぎ	%	0.0	0.0				45.0	
ニマルイチマル20・10運動を実践している住民の割合	%	31.2	—				35.0	松川町食育推進基本計画における保健福祉課が行うアンケート調査結果を用います。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

- (1) 基本施策の達成度 : —

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

- (2) 次期総合計画への方向性 : —

3-2 基本施策評価

基本施策：1. 地域と共にすすめる食育

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：「残さず食べよう！20・10運動」の推進

主要事業の概要：一般家庭における食品ロス削減を意識してもらうため、様々な広報媒体による啓発を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	広報まつかわやチャンネルユーの放送を使い啓発活動を行い、町民の食品ロスへの意識を高めた。 健康に暮らすために必要不可欠な食料品を無駄にせず大切にすることによって、食料のありがたさを再確認することができた。	食料品を大切にし、地産地消を意識した健康的な食生活の推進を進める。 コロナウイルス感染症対策により外食の機会が減少している。	宴会が開かれる機会が減る中で、2010運動に代わる施策として、家庭から出る賞味期限切れの食品等のフードロスを減らすためのフードバンクといった施策に取り組む。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：バランスの良い食事の摂取

主要事業の概要：子どもから大人まで、減塩等の推進やメタボリックシンドローム、肥満やせ、低栄養の予防や改善を推進します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	特定健診の受診者のうち、メタボリックシンドローム者R1年度25.8%が26.8%と上昇した。また、小学生の肥満者が近隣と比べて高いことから、継続して学校との連携も必要である。	メタボリックシンドロームの人や児童、生徒の生活背景をみると、食事が偏っているというよりは、生活リズムが不規則だったり、3食きちんと食べていないという状況がみられる。	生活背景に合わせた食事指導、保健指導を実施していく。また、体を動かす面から、R2年度から開始したノルディックウォーキングや、公民館の生き生きウォーキングに参加を促す。	3 (80%以上)
	メタボリックシンドロームの改善のために、担当保健師、管理栄養士をつけて、生活改善に結びつくように事例検討を行っている。学校は、血液検査の結果と食事記録により、小5と中2に授業と懇談会で保健・栄養指導を実施している。			
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：食育の日の設定し、食育を推進
地産地消を推進

主要事業の概要：児童、生徒による給食献立の作成と小学校のコメづくりを通じて食育の推進を行います。
生産者訪問や食材の紹介を通じて、地産地消の推進を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	食に関する指導の全体計画に沿い、食育の推進を図った。環境に優しい農業による農産物利用を実施した。生産者訪問等はコロナ禍のため実施することはできなかった。 環境に優しい農業により栽培された野菜やコメを給食に取り入れたことにより、「食」への関心が児童生徒及び保護者へも伝わりより良い「食育」への推進への効果が見られた。	食に関する指導計画が、学校活動及び授業との連携を実施できる体制づくりを行う必要がある。地域との交流も含め栽培活動への児童生徒の参画が課題である。	国・県・町との連携を密にした「食育」推進の実現及び学校で取り組む、栄養教諭（栄養職員）を中核とした「食育」の推進を行う。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：保育園の特性を生かした食育の推進

主要事業の概要：地域の方との交流による畑づくりや、園児が育てた野菜を使ったクッキングを通じて食育の推進を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	全園で、地域の皆さんにご協力いただいた畑の活動を行うことが出来た。 新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちが行うクッキングはできなかった。 自分たちで野菜を栽培し、収穫した野菜を給食の材料とすることで、苦手なものも少し食べてみようとする姿が見られた。 給食の時間に、野菜の栄養価クイズなど行うことで、食べることに興味を持つことが出来た。	保育園の活動を通じて、家庭への食育の推進を行うための施策を考えていく必要がある。	保育士や栄養士による食育教室を実施する。 家庭への情報提供として、園だよりやクラスだより、栄養士が作成する「食育だより」などを活用する。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

3-3 総括評価（施策大綱評価）



3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり

施策大綱3：支えあい、認め合うまちづくりと共生社会の実現

1. 町の基本方針

- ① 障がい者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、多様化・複雑化している各種の相談に応じるとともに、適切なサービス提供により、可能な限り自立を促します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
生活困窮の相談件数	件	11	10				10	窓口相談受付件数
日平均利用者数	人	10.1	7.1				12.0	地域活動支援センターⅢ型の利用 人数要件
認知症サポーター数	人	2,016	2,226				2,616	・オレンジチーム（認知症初期集 中支援チーム）による認知症患者 とその家族の支援 ・オレンジ推進員（認知症地域支 援推進員）による地域での認知症 啓発活動 ・GPSや行方不明者情報配信に よる早期発見
第8期介護保険計画 策定と実施	%	0	100				100	令和2年度中に第8期介護保険計画 策定を行い、令和3～5年度に事業 を実施します。
コミュニティカフェ 及び地域活動支援セ ンター“あすなろ” 登録者数	人	4,896	2,760				5,100	地域共生社会の拠点となる施設 を、交通の便や地理的条件を考慮 した場所へ統合して設置し、年齢 や障がいの有無に関わらず活躍で きる場を提供することで、登録者 の増を図ります。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : -

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : -

3-3 基本施策評価

基本施策：1.生活困窮者への適切な相談

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：生活困窮者の自立支援

主要事業の概要：福祉係を中心に、役場内（介護、高齢、予防、こども課）及び関係機関（地方事務所、社会福祉協議会、まいさぼ等）と連携を取り支援体制の整備をします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	窓口・電話による直接相談の他、関係部署や機関からの情報共有により支援方法の検討を行った。 特に今年度はコロナによる経済面の相談には社会福祉事務所の連携により対応した。 就労支援、食糧援助、居住の確保等まいさぼや社協と連携し支援を行った。 役場内の連携により複合的な問題を抱える家庭に支援の手を入れることができた。また、就労支援やコロナの影響に対する支援事業（県・社協・まいさぼ）に繋げることで、生活保護に至る前の支援が行えた。	支援の内容によっては生活基盤の変化が必要となるため、支援そのものを拒否される方がいる。そのため、より細かな支援体制の構築、研究が必要となる。	生活困窮者世帯の支援は経済力の不足、多重債務、高齢や障がい起因する就労困難などケースにより柔軟な対応が求められるため、生活保護に至る前の支援から、関係機関との連携をより一層密にして取り組む必要がある。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,200	300	300	300	300
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	1,200	300	300	300	300

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 障がい者福祉・支援の充実

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：障害者の自立支援

主要事業の概要：障がい者の居場所づくり、社会参加や就労支援を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地活センターあすなろでは感染症対策を行い、コロナ禍の中で何ができるかを利用者と共に考慮した。日平均利用者数は定員を下回るものの、自主製品の新たな販路の開拓、利用者の就労支援に繋がっている。 自主製品の販路拡大により利用者の社会参加への意欲が上がった。また、障がい者就労支援は4名の方が繋がった。	感染対策により人気のプログラム（調理・外出）を行うことが難しい中、利用者が飽きることのない活動内容を検討する必要がある。	自主製品の販路開拓やボランティアの受け入れ等により「あすなろ」を知ってもらい社会参加の機会を増やす。また、長期入院者（精神）の退院後の居場所として病院・行政と連携する。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	35,319	8,666	8,741	8,956	8,956
特定財源（特財）	30,000	7,500	7,500	7,500	7,500
一般財源（一財）	5,319	1,166	1,241	1,456	1,456

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業の概要：オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）による、認知症患者と家族支援をします。
オレンジ推進員（認知症地域支援推進員）、認知症サポーター養成講座等、地域等の学習会を企画し、認知症の啓発を行います。
認知症による行方不明者の早期発見ができる仕組みづくりを推進します。

-76-

R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	55,978	13,800	14,578	13,800	13,800
特定財源（特財）	43,106	10,627	11,225	10,627	10,627
一般財源（一財）	12,872	3,173	3,353	3,173	3,173

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：4. 介護保険事業の健全な運営

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：第8期介護保険計画策定及び事業の健全運営

主要事業の概要：適正な介護サービスの給付と質の確保のため、第7期運営状況の点検と次期計画策定と運営を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	第8期（R3年度～R5年度）に向けた懇話会を開催し、現状分析、課題把握、課題解決の方策を立案できた。2期据え置いた介護保険料を、「見える化システム」で算出したデータをもとに設定した。 コロナ禍で突発的に介護給付費が伸び、介護費用を抑制するための介護予防事業も控えることになった。一方で、本年度スタートの「保健と介護予防の一体的実施事業」を活用し、予防対象者の洗い出しと分析を行えた。	R3年度介護報酬改定では、自立支援に向けた取り組みに対する強化が図られ、更に介護人材の育成が必要になっている。また、核家族化やコロナ禍による家族支援が弱い状態での家族介護者の支援が必要となっている。	介護事業者への研修会を行ない介護人材の育成を図っていく。家族介護者に対しては、実態調査を行なう等して現状把握を行なっていく。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	5,093,748	1,300,000	1,193,748	1,300,000	1,300,000
特定財源（特財）	3,527,887	860,000	947,887	860,000	860,000
一般財源（一財）	1,565,861	440,000	245,861	440,000	440,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：5.共に支え合う地域共生の社会づくり

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：地域共生社会の考え方に基づく拠点整備

主要事業の概要：旧ハローミヤ跡地を活用して、地域共生社会の拠点施設を整備します。

必要に応じて町内の空き家を活用し、福祉施設としての活用を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域共生社会について、町政懇談会、広報まつかわで周知し、一部の町民ではあるが理解が深まった。 整備計画（案）の策定に伴い行った議会、検討委員会、地域福祉連絡協議会（スタッフ会議）により、関係者間で共有を図ることができた。 地域共生社会の拠点となる施設の建築に向け、交通の便などの地理的条件に配慮した場所に、年齢や障がいの有無に関わらず活躍できる場の創設に向けた整備計画（案）を策定することができた。	拠点施設で行う事業の参加者と、一般住民をいかに多く関わらせるかという課題に対し、基本設計段階までに、障がい当事者の会や親の会、各種団体などへの説明と意見聴取を行っていく必要がある。	令和3年の公募型プロポーザルまでに、コミカフェ、あすなろ、放課後等デイのほか、社会教育団体、近隣自治会などへの意見聴取の機会を設け、整備計画（案）の肉付けを図る。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	366,400	16,400	350,000	0	0
特定財源（特財）	189,700	14,700	175,000	0	0
一般財源（一財）	176,700	1,700	175,000	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

4-1 総括評価（施策大綱評価）



4 安心で安全な住みよい暮らしづくり

施策大綱1：災害に強い地域づくり

1. 町の基本方針

- ① 松川町地域防災計画に基づく防災体制を確立するため、各種マニュアルの作成や地域住民への防災の啓発活動を進めます。
- ② 消防団の火災出動時の態勢強化のため、資機材の充実や、自主防災組織などの各種団体との連携のほか、予防活動の推進を図ります。
- ③ 災害発生時、自主的に自主防災組織が活動できる組織とするため、情報共有や研修会等により活動の強化を図ります。
- ④ 災害に強い行き届いた森林整備を行うために、森林所有者に向け森林経営計画への参入を促すとともに、森林経営計画内での施業を滞りなく実施します。また、管理できない森林、保全の必要性が高い区域については、森林環境譲与税を利用し、森林管理を実施します。
- ⑤ 災害時に、職員の誰もが迅速に業務に対応・従事できるようにするための情報ネットワーク環境を整備します。
- ⑥ 災害廃棄物処理計画を策定し、災害時の迅速な廃棄物処理体制を確保します。
- ⑦ 災害発生状況下での、水の確保と下水道機能の維持・回復を行える体制をつくりします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
消防団員数 (機能別団員を含む)	人	277	273				296	消防力維持のため、定員に定める団員数の確保を目標とします。
民有林の森林経営未 計画面積	ha	179	178				140	全森林から策定済箇所、企業所有、赤松森林を抜いた面積内。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

4-1 基本施策評価

基本施策：1. 地域防災計画に基づいた体制づくり

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：出前講座等の開催
防災訓練の実施
防災用備蓄倉庫等整備

主要事業の概要：出前講座や計画的な広報活動により住民に対し、防災情報を発信します。地域住民が避難行動等がとれるよう訓練を実施するとともに、町災害対策本部の設置訓練や、各関係機関との連携確認を行います。災害時の住民の程と生活維持への迅速な対応を行うために、防災用備蓄倉庫及び車両倉庫の整備を進めます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域住民や防災関係機関と連携した防災訓練を実施し、災害時の対応について確認を行った。 また、出前講座が開催できない状況から、毎月、広報まつかわで、防災情報を発信した。防災ハザードマップを更新を行った。防災用備蓄倉庫の整備を見据え、防災備蓄品の充実を図った。	自分自身や家族で備える「自助」が基本であり、一人ひとりがより防災意識の向上をする必要がある。	防災ハザードマップを活用した土砂災害警戒区域等の危険個所の周知など、防災情報を継続的かつ定期的に発信する。 防災備蓄品の整備を進めるとともに、防災備蓄品を使った防災訓練を実施する。	3 (80%以上)
	令和2年7月豪雨災害では、町対策本部を設置し、被災情報を収集するとともに、自主防災組織の連携し、避難所の設営を行うことができた。防災訓練や、町からの防災情報を定期的に発信することで、防災意識の向上につながっている。			

R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	82,527	26,995	15,532	20,000	20,000
特定財源（特財）	7,975	7,975	0	0	0
一般財源（一財）	74,552	19,020	15,532	20,000	20,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方角 ：－

基本施策：2. 消防団活動の推進

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：消防団活動の推進

消防車両等資機材の整備

消防団協力事業所表示制度の普及

主要事業の概要：自主防災組織、常備消防などと連携し、消火訓練や救助・救護訓練を行います。消防団が担う役割の拡大により、消防車両等資機材の計画的な配備を進めます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	コロナ禍で、消火・救助・救護訓練が実施できない中で、消防団の活動内容や、消防団員による土のうの作り方、消火栓・消火器の使用法、負傷した際の応急手当の方法など、チャンネルYOUを活用した広報活動を行った。 消防車両更新計画に基づき、2台の車両を更新した。	消防団員数が定員を下回っており、新入団員の確保が難しい状況下にある。	消防団が担う役割を理解していただき、団員確保につなげていく。また、団員各自に消防技術を習得させ、非常に備える。	3 (80%以上)
	チャンネルYOUによる広報活動により、広く町民の方に消火栓等の使用法が周知でき、また、消防団の活動内容を知っていただき、地域にとっての消防団が担う役割を認識していただく機会となった。			
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	270,704	51,257	76,947	77,500	65,000
特定財源（特財）	69,988	9,859	29,629	21,500	9,000
一般財源（一財）	200,716	41,398	47,318	56,000	56,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 自主防災組織の強化・連携

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：自主防災組織リーダーの育成
 自主防災組織施設整備事業
 消防施設整備事業

主要事業の概要：補助制度の周知や必要資機材を提案することで、自主防災組織の施設整備や防災備蓄品の充実を進めます。
 研修会を通じ自主防災リーダーの育成を図るとともに、出前講座等により組織全体の防災意識の高揚と知識習得を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	自主防災施設整備事業及び消防施設整備事業の補助事業を周知し、防災資機材等の整備を進めた。 防災訓練では、町災害対策本部と連携し、避難所の開設訓練を実施し、災害発生時の対応方法等を確認した。 令和2年7月豪雨災害の際は、自主防災組織が主体となり、各避難所を開設及び運営し、避難者の受入を行うことができた。 防災情報の発信を受け、自主防災組織では、自主防災組織施設整備事業により、地区に必要な備蓄品を検討し、整備を進めている。	防災情報を発信し、災害について考える機会を作り、より防災力を向上する必要がある。	自主防災リーダー研修会を開催し、災害に対応できる自主防災組織のリーダーの育成を行っていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	19,829	5,025	4,304	3,500	7,000
特定財源（特財）	4,900	1,400	0	0	3,500
一般財源（一財）	14,929	3,625	4,304	3,500	3,500

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：4. 災害に強い森林づくり

【関連する基本方針】：基本方針④

主要事業：計画的な森林施業の推進及び、森林経営管理制度により、経営管理を委託された森林の管理実施

主要事業の概要：飯伊森林組合と連携して、経営計画の協議・見直しを行います。

地域協働による里山整備への支援をします。

森林経営管理制度の実施に向けた、森林所有者への意向アンケートの実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域での里山、竹林整備を目的とした協議会の結成を支援した。 森林経営管理制度の実施に向け、町の方針を立てアンケートの実施した。 今後、回答者への情報提供などを行う予定である。また、全地区の把握に向け徐々に進める必要がある。 新規の地域協議会が3つ立ち上がり、景観に優れた整備が実施された。	地域協議会での事業は補助を受けて実施しているが、3年間のみとなるので、継続できる仕組みが必要。 林産物による収入等を検討する必要がある。	伐採した竹や、樹木の整理に木材破砕機を利用してもらい、森の整備を進めていただけるよう、PRしていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	14,512	2,995	4,577	3,470	3,470
特定財源（特財）	110	0	110	0	0
一般財源（一財）	14,402	2,995	4,467	3,470	3,470

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：5. 情報ネットワークのLAN無線化

【関連する基本方針】：基本方針⑤

主要事業：災害対策本部のLAN無線化

主要事業の概要：庁舎内の無線LAN化によるネットワークの構築時間の短縮を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	ルーターの設置ヶ所等について検討を行い、RFIを実施した。 情報ネットワークの無線化について、実現の見通しを持つことができた。	議場の改修等、その他の事業とも調整を図るとともに、セキュリティ・ポリシーの見直しを行う必要がある。	セキュリティを確保しながら、効果的で効率的な仕様の作成を進める。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	8,470	0	0	8,470	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	8,470	0	0	8,470	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：6. 災害時の廃棄物処理計画の策定と推進

【関連する基本方針】：基本方針⑥

主要事業：災害廃棄物処理計画策定

主要事業の概要：内部調整会議、関係機関と協議を重ねながら計画策定を行い、災害時の迅速な処理体制を確保します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	災害廃棄物処理計画策定モデル事業のワーキングに参加し、処理計画を完成させた。災害時の対応を予め策定しておくことで、災害時にも迅速に対応できる。 災害廃棄物処理計画を策定する中で、災害廃棄物の仮置き場の検討や、関係機関等を確認し、災害時の対応を確認することができた。	実際の災害時には、迅速に対応、適切な処理を行えるよう、内容も見直しを随時行う。 大規模災害発生時の災害廃棄物仮置き場の確保を引き続き行う。	災害廃棄物の一次仮置場や、関係機関の連絡先等を定期的に見直し、計画が実行可能なものとなるよう運営する。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

基本施策：7. 災害時の水の確保、下水道事業業務継続計画の策定と推進

【関連する基本方針】：基本方針⑦

主要事業：非常用飲料水袋の備蓄

下水道BCPに基づく訓練実施と計画見直し

大型非常用発電機購入

主要事業の概要：災害時の給水用として、非常用飲料水袋を備蓄します。

下水道BCPに基づく訓練を維持管理業者と連携して実施し、計画の評価や見直しを行います。

停電時にもマンホールポンプの機能を維持するため、非常用発電機を購入します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	災害時の給水用として非常用飲料水袋660枚を購入した。町の防災訓練に合わせ維持管理業者と合同で下水道BCPに基づく訓練を実施した。国のBCP策定マニュアル改訂版の公表に伴い、下水道BCPの改定を行った。停電時にもマンホールポンプの機能を維持するため、非常用発電機を購入した。 非常時にも非常用飲料袋で給水できる体制を整えた。維持管理業者と合同で訓練を実施することで、下水道関係者内で災害時の対応について、意識の共有が図れた。非常用発電機を整備し、停電時にもマンホールポンプの機能を維持する体制を整えた。	松川浄化センター、福与クリーンセンターが千年確率降雨での浸水範囲に含まれるため、物理的な対策を検討する必要がある。	引き続き非常用飲料水袋の備蓄に努める。引き続き下水道BCPに基づく訓練を実施し、災害等の発生時でも下水道機能の維持・回復を行える体制づくりに努める。毎年BCPの内容点検を実施し、現状に合った計画を維持する。千年確率降雨についてはソフト対策、百年確率についてはハード対策を原則としながら対応策の計画を検討する。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	2,221	1,554	227	220	220
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	2,221	1,554	227	220	220

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

4-2 総括評価（施策大綱評価）



4 安心で安全な住みよい暮らしづくり

施策大綱2：暮らしを支える交通環境づくり

1. 町の基本方針

- ① 歩行者の安全対策、円滑な交通確保のため、町道整備事業の充実化を図ります。
- ② 安全で快適な道路環境を維持するため、道路維持補修や除雪等を実施します。
- ③ 安心・安全、快適な交通の確保のため、老朽化した橋梁と経年劣化の著しい舗装を修繕します。
- ④ 交通弱者の移動手段の利便性を高めるため、効率のよい公共交通の運行を図ります。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
町道改良率	%	50.6	51.3				52.0	年間0.3%の増を目標とします。
橋梁修繕数	橋	0	2				8	修繕計画の目標とします。
舗装修繕延長	m	1,100	1,400				1,500	
コミュニティバス等の利用者総数	人/年	31,891	20,703				39,891	2,000人/年×4年間＝8,000人の増加を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

4-2 基本施策評価

基本施策：1. 幹線道路・生活道路の整備

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：国庫補助道路事業
 辺地対策道路事業
 町単公共土木事業

主要事業の概要：国庫補助道路事業により道路改良工事を実施します。町単土木事業により道路舗装、局所改良、防災、道路補修、側溝整備、安全施設工事を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	国庫補助事業、起債事業、町単事業により、町道整備のため各種の工事発注を実施した。本年度は7月梅雨前線豪雨の影響により、大幅に工事箇所数が増加した。 当初に計画していた119箇所その他、7月梅雨前線豪雨の影響を受け、追加で89箇所の工事発注を行い一部繰越工事を除き、整備したことにより地元要望を反映した町道整備を行った。	道路の拡幅改良工事に伴う、用地・補償への理解を得るのが難しくなっている。また工事に伴う、通行規制の理解を得るのが難しくなっている。また、個人による工事要望が多くなっている。	緊急性、安全性、経済効果等、総合的に判断した上で、引き続き、地元(区・自治会)要望を反映した土木工事を実施していく。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,563,000	430,000	373,000	400,000	360,000
特定財源（特財）	516,920	222,300	139,200	68,920	86,500
一般財源（一財）	1,046,080	207,700	233,800	331,080	273,500

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 道路維持補修と積雪対策

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：道路維持補修と積雪対策事業

主要事業の概要：道路沿線の除草、支障木等の所有者に管理を促します。幹線道路、バス路線等の除雪と融雪剤散布を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	国県道、町道沿線の除草、支障木等の所有者に管理を促し、除草、支障木伐採を個別に依頼した。 除雪、融雪剤散布対応は、降雪が少なかったものの、降雪時には対応した。 道路沿線の除草、支障木伐採は、町内巡回時にチェック、通行者による通報等により対応し、早期に通行支障が無くなった。 除雪、融雪剤散布は、事前予測をし業者手配等行い、道路通行に支障は無かった。	除草、支障木伐採等は、常に町内巡回が必要である。 降雪予測がされる時、降雪時の町内巡回必要である。	対象となる土地所有者との連絡を密にし、早期の対応を辞実施する。 除雪業者との連携と対応を行う。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	191,942	47,942	48,000	48,000	48,000
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	191,942	47,942	48,000	48,000	48,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 橋梁の長寿命化

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：国庫補助橋梁修繕事業
舗装補修事業
(公共施設等適正管理推進事業)

主要事業の概要：松川町橋梁・舗装長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	計画していた国庫補助、起債事業を活用して、橋梁は3橋の修繕設計を行い、2橋の修繕工事を実施した。舗装は町の主要幹線道路について800mの修繕を実施した。 橋梁は緊急性の高い3橋の修繕設計を実施したことにより、次年度に修繕工事が実施できる。また2橋の修繕を実施したことにより、長寿命化が図れる。舗装は主要幹線道路の修繕を実施したことにより、安全・安心・快適な交通を確保することができる。	橋梁は長大橋の補修設計を計画しているため、工法選定を慎重に行う必要がある。舗装は工事中の通行規制に対する沿線住民の理解が必要である。	国庫補助事業により、橋梁は1橋の修繕設計と3橋の修繕工事を実施する。起債事業により舗装は町の主要幹線道路について、約500mの修繕を実施する。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	314,700	84,000	84,000	13,700	133,000
特定財源（特財）	214,805	47,000	61,600	54,630	51,575
一般財源（一財）	223,195	37,000	22,400	82,370	81,425

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：4. 交通弱者対策

【関連する基本方針】：基本方針④

主要事業：コミュニティバス等の運営

主要事業の概要：コミュニティバス等の運行管理を行うとともに、地域公共交通対策協議会で運営について検討します。また、効率の良い運行方法の検討を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	事故等なくコミュニティバスの運行管理を行うとともに、地域公共交通対策協議会で効率の良い運行方法の検討を進め、令和2年1月から、生田地区でドアtoドアのデマンドタクシーの実証運行を開始した。 実証運行開始直後にコロナ禍に見舞われ、利用者への影響は大きかったものの、実際どの程度コロナの影響を受けたのか正確に把握することができない状況下であることから、生田地区におけるデマンドタクシー運行の適否が判断できない状況となっている。	高齢者等から、タクシー利用に対する助成を求める声や、ひまわり乗車券の増額を希望する意見が寄せられていることから、交通弱者対策として、他の運行方法も含め検討が必要である。	デマンドタクシー実証運行の検証及び、高齢者等のニーズを把握するためのアンケート調査を実施し、当町に適した公共交通の運行方法を検討する。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	332,437	56,214	59,625	108,299	108,299
特定財源（特財）	109,618	752	866	54,000	54,000
一般財源（一財）	222,819	55,462	58,759	54,299	54,299

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

4-3 総括評価（施策大綱評価）



4 安心で安全な住みよい暮らしづくり

施策大綱3：自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進

1. 町の基本方針

- ① 河川、農業用水等の水質保全のため、水質の監視と河川の汚濁防止対策を行います。
- ② 地域内外の多くの人が訪れる、豊かな森林づくりを推進します。
- ③ 地域の優れた景観の保全と周辺環境との調和を図るため、景観計画及び条例策定をします。
- ④ 良好な市街地形成のための都市計画の推進を図ります。
- ⑤ 地域住民や事業者とともに、不法投棄撲滅に向けた対策と環境美化活動を実施するとともに、燃やすごみや資源ごみ、埋立ごみ等の収集・処理を計画的に実施します。
- ⑥ エネルギーの有効利用と二酸化炭素削減のため、自然エネルギー利用システムを推進するとともに、エネルギーの節約や効率化を図ります。あわせて第3期松川町役場地球温暖化防止実行計画の策定をします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
河川の大腸菌群数	MPN/ 100ml	79,300	9,053				1,000	特に値が高い野岩川を中心に対策を検討し、生活環境の保全に関する環境基準1,000以下を目指します。
およりての森周辺一帯の整備面積	ha	16	17				19	全面積28ha（およりての森、池の平、青年の家周辺） 整備済 16ha（およりての森）
不法投棄処理件数	件	55	40				32	過去10年平均に、施策による減少（△2割）を見込みます。
燃やすごみの排出量	t	1,557	1,634				1,479	H30実績値の5%削減とします。
蓄電池設置事業補助金交付件数	件	0	18				8	太陽光発電システムを設置するお宅10件に1件蓄電池設置をすると推測し、年間2件を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : —

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : —

4-3 基本施策評価

基本施策：1. 河川等の汚濁防止と河川清掃活動の推進

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：水質検査結果の詳細な検証

主要事業の概要：人や動物の排泄物の指標として用いられる、大腸菌群数（水中に含まれる大腸菌及び大腸菌に類似する細菌）が高い箇所の原因を探し対処します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	定期的な水質検査によって大腸菌、大腸菌群数を調査し、水質汚染の原因となる箇所の探索を行い、水質改善に取り組んだ。 公民館活動の青年学級と水質検査結果を共有するとともに、合同で勉強会を開催し、今後の課題等共有し、協力して水質改善に取り組んだ。 自然環境保全のため、町内の河川で大腸菌、大腸菌群数の数値を調査し、問題箇所を探しながら水質改善、河川美化に取り組んだ。	大腸菌や大腸菌群数の高い箇所を特定し、その原因と対策を検討し、美しい河川の実現を目指す。	引きつづき水質検査を行い、検査結果から採水場所の検討や、青年学級との合同学習会などを行い、美しい河川の実現を目指す。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	2,487	525	562	700	700
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	2,487	525	562	700	700

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：町内河川一斉清掃
天竜川、片桐松川他河川パトロール

主要事業の概要：6月町内河川一斉清掃実施により、原材料支給等します。河川パトロールにより河川環境保全を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、町一斉河川清掃は中止。各自治会により清掃実施。実施した自治会には原材料を支給した。 河川パトロールは、5月と10月に実施した。 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止にしたことについては町民の一定の理解は得られた。 河川パトロールは、河川のゴミは減少により効果は表れている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、事業を中止したが河川内の除草等ができず、梅雨期、増水期の心配が住民より寄せられている。	次年度での河川清掃での人と人が密にならないような実施方法の検討が必要である。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	53,710	16,226	11,172	13,156	13,156
特定財源（特財）	1,163	113	350	350	350
一般財源（一財）	52,547	16,113	10,822	12,806	12,806

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 計画的な森林の整備

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：訪れる人にやさしい森づくり

主要事業の概要：およりての森、清流苑、旧青年の池、池の平周辺を一体とした森林整備を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	およりての森アドバイザーの3名の皆さんとともに、整備を実施した。コロナ禍において、清流苑の皆さんも整備に参加していただいた。池の平周辺では植樹祭を実施した。 多くの方に訪れていただける森となった。親子での参加もあり、駐車場の希望なども寄せられた。アドバイザーの先生による自然観察会も開催された。	多くの方に森に親しんでもらうため、広報活動等が必要である。 広大な面積であり、整備には人も時間も継続していくことも必要。持続可能な整備を進めたい。	観察会により多くの皆さんに訪れていただきたい。また森林セラピー基地として、観光面での取り組みと連携し、整備を進めたい。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	63,132	3,351	22,927	18,427	18,427
特定財源（特財）	51,113	653	19,980	15,240	15,240
一般財源（一財）	12,019	2,698	2,947	3,187	3,187

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 景観の保全

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：景観計画の策定

松川町屋外広告物要綱の策定

主要事業の概要：地域固有の美しい景観の保全のため、地域の自主的な取組、意識の醸成を図ります。景観と調和を図る目的で町の景観条例策定をし、長野県屋外広告物条例に基づく町の要綱を策定します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	H30～R2年度の3ヶ年により、松川町景観計画を策定策定した。同時に、松川町景観条例及び施行規則を制定した。令和3年1月1日より景観行政団体への移行した。令和3年4月1日より景観条例完全施行となる。 景観計画策定委員会設置、委員の選出（女性参画50%達成）、松川町地域の美しい景観の保持をするために改めて地域の皆さんに認識いただいた。	町景観計画は、町民の皆さんが理解しやすい内容等を考慮すること。規則で制限をしていかにしていく。	令和3年4月1日以降は、景観形成の申請に対し、町にて申請・許可事務手続きを取ることとなります。県との連携も必要である。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	2,442	2,442	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	2,442	2,442	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：4. 貴重な自然の保全

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：ツツザキヤマジノギク保護活動
地域を知る講座などの学習活動

主要事業の概要：ツツザキヤマジノギク保全協議会により、保全区域の保全活動を行います。地域を知る講座として、多くの住民参加の学習活動と外来種駆除活動を行います。おいなんよまつかわ等他の団体に花の観察会を行うよう呼びかけ、多くの方に関心を持っていただくよう啓発を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	ツツザキヤマジノギク保全協議会、地域を知る講座として、多くの住民参加の学習活動と外来種駆除活動を行った。花の観察会を開催した。 保全協議会による圃場整備、除草作業等により、生育が順調である。観察会も開催され、在来種の大切な花を記録し、種採取等も行う。	7月梅雨前線豪雨により、天竜川の増水により圃場が荒れてしまった。	R3年度県社会教育委員大会分科会にて、発表予定である。圃場の整備は、天竜川上流河川事務所と協力して行う。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：5. 都市計画マスタープランの推進

【関連する基本方針】：基本方針④

主要事業：都市計画道路事業
都市公園整備事業
都市再生整備計画事業

主要事業の概要：松川町都市計画マスタープラン等に基づき都市計画道路の整備及び都市の公園の整備・修繕を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	町道59号線(宮坂)道路改良工事の工事発注を実施した。 都市公園（5公園）の施設整備・修繕を実施した。 計画的な公園内施設整備を目指し、松川町公園長寿命化計画策定に取り組み始める。 工事が完成すると、計画決定通りの整備ができ、宮坂交差点の安全性が確保できる。都市公園施設整備・修繕を随時実施した。遊具点検後、修繕実施した。 公園長寿命化計画策定の国庫補助金申請（概算、本要求）を行った。	都市計画決定から50年以上経過しており、現状に即して都市計画道路の見直し、変更が必要である。	都市計画道路の見直し検討図に基づき、計画変更に向けて準備を進める。	4
R3				(目的達成)
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	70,765	13,875	21,946	17,472	17,472
特定財源（特財）	11,015	2,005	5,000	2,005	2,005
一般財源（一財）	59,750	11,870	16,946	15,467	15,467

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：6. 不法投棄の撲滅、ごみゼロ運動

【関連する基本方針】：基本方針⑤

主要事業：子どもたちが製作した環境に関するポスターや標語を用いた看板、チラシの作成

主要事業の概要：海洋プラスチックごみ問題を意識したごみ回収に取り組みます。

子どもたちが製作した環境に関するポスターや標語を用いた看板、チラシを作成し、小売店等でも掲示してもらいます。また、特に常習的に捨てられる箇所や量が多い箇所に看板を設置します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	松川北小学校生徒の社会見学で生田一般廃棄物最終処分場を見学してもらい、ごみを減らす必要性、分別の大切さを学んでもらった。 町内の不法投棄処理を行い、深刻な現場には看板やカメラの設置を行い、町民の方と共に不法投棄撲滅に取り組んだ。 処分場を見学した小学生からは分別の大切さを学んだという感想をいただき、ごみの減量について意識の向上につながった。 不法投棄に対して町民の方と相談しながら対応することにより、不法投棄防止についての意識を共有することができた。	子ども達の限られた学習時間の中で、環境に関する作品を作成してもらう時間について学校と相談しながら進める。不法投棄を防止するため、ごみを捨てにくい環境を作ることが必要である。	処分場の社会見学後、あるいはごみの学習の一環でポスターや標語を作成していただくことを学校と相談しながら進め、子どもたちの作品を通じて大人にもごみに対する意識を高めてもらう取り組みを行う。 ごみを捨てにくい環境を整備するため、継続的に美化活動を実施していく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	248	50	66	66	66
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	248	50	66	66	66

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：7. 燃やすごみの共同処理、計画的なごみ収集

【関連する基本方針】：基本方針⑥

主要事業：子ども、ファミリー枠を設定したエコバスツアー

主要事業の概要：夏休み中に実施し、車1台分は子ども・ファミリー枠を設けます。放課後子ども教室等と連携して積極的な参加を呼びかけます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	新型コロナウイルスの影響でエコバスツアーは中止としたが、稲葉クリーンセンターの焼却炉の様子や、資源ごみのリサイクルセンターの様子をチャンネルユーで放送することにより、ごみの減量化と分別についての意識を向上を図った。 燃やすごみがどのように処理されるか、分別されたごみがどのようにリサイクルさせるかを焼却炉やリサイクルセンターの様子を見ることによって知ることができ、ごみの減量や分別の必要性を感じてもらえた。	燃やすごみの中で最も多い生ごみの減量化について引き続き有効な手段を検討する。	状況に応じてエコバスツアー開催する。稲葉クリーンセンターで行っている小学生を対象としてごみの出前授業の実施について、学校と相談して進める。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	52	0	26	13	13
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	52	0	26	13	13

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：8. 自然エネルギーの活用とエコライフの普及啓発

【関連する基本方針】：基本方針⑥

主要事業：松川町再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドラインの周知
住宅用太陽光発電・蓄電設備設置費補助
松川町役場地球温暖化防止実行計画策定

主要事業の概要：再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインについて、地域に周知するとともに、設置事業者へ届出の促進を行います。
太陽光発電設備設置事業補助を拡充し、蓄電設備設置に対する補助を追加し、地域の自然エネルギー有効利用を支援します。
役場の事務及び事業に関し、内部調整会議を重ねながら計画策定を行い、温室効果ガスの総排出量の削減を目指します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	発電設備設置は、新規計画届出なし。また、町景観条例施行に伴いガイドラインを一部改正した。 新たに策定した蓄電設備設置補助金を利用しての設置が予想以上に多数あり、エネルギーの有効活用に寄与できた。 地球温暖化防止計画の素案を策定した。これをもとに各施設で削減目標に取り組み、温室効果ガス排出削減を実行する。 ガイドライン一部改正により、以前より環境に配慮して設置してもらうことができる。 蓄電設備を設置することにより、発電した電気の自家消費というエネルギーの有効活用を実現できた。また、蓄電した電気を災害時に利用できることで防災に寄与することができた。 各施設からの温室効果ガスの報告をもとに地球温暖化防止計画の素案を策定し、目標年度（2030年）に向けて取り組みの道筋を立てた。	施設設置にあたり、町景観育成基準を参照してもらう説明が必要となる。 設備設置の希望者が多数ある中で、限られた予算内でより多くの人に補助金の交付機会が持てるよう、補助金制度についての検討が必要。 温室効果ガスの削減目標達成のために、各施設での取り組みとともに、松川町役場全体として目標達成のために意識の共有が必要である。	改正したガイドラインに従い計画を届け出してもらう。 太陽光発電・蓄電設備設置補助金について、要綱を改定するとともに広く広報活動を行い、申請機会に不公平が起こらないよう運営する。 温暖化防止計画の素案を各施設のエコリーダーに確認してもらい、実行可能なものとして運営する。	3 (80%以上)

R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	10,400	3,150	2,950	2,150	2,150
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	10,400	3,150	2,950	2,150	2,150

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

4-4 総括評価（施策大綱評価）



4 安心で安全な住みよい暮らしづくり

施策大綱4：安心安全な水の供給

1. 町の基本方針

- ① 安全で安定した水道水の供給のために、水道施設及び設備の維持管理と日々の水質管理、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。
- ② 農業集落排水と公共下水道の処理区を統合することにより、町全体の汚水処理に要する総合的なコスト縮減を図ります。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
農業集落排水処理区 画数	処理区	5	5				4	公共下水道処理区と隣接し、物理的に接続が容易な農集排水処理区の統合を優先して行います。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : ー

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : ー

4-4 基本施策評価

基本施策：1. 水道施設・設備の維持管理・更新と水質管理

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：老朽配水管の更新

主要事業の概要：老朽配水管を更新することにより、耐震対策と破損事故の防止を図ります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	大島地区の老朽管（VP管）を耐震管（NS-E種他）に更新することで事故防止に努めた。一部、関係者との協議の遅れから発注が遅れたが、R3年6月には竣工予定である。 安定的な水道水供給を行った。PR活動として出前講座を2件、浄水場見学1件を受入を行い、消費者からは「松川町の水はおいしい」と感想があった。	老朽管更新の目途は見えてきたが、耐震管への更新は次の課題となっている。	R7年度までに計画どおり老朽管の更新を行い、破損事故防止に努める。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	80,436	18,436	22,000	20,000	20,000
特定財源（特財）	22,000	0	22,000	0	0
一般財源（一財）	58,436	18,436	0	20,000	20,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：水道施設の維持管理
水質管理

主要事業の概要：職員による巡視と監視装置により、水道施設の運転状況及び水質の変化を、24時間体制で監視します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	24時間365日の水道施設の運転管理を実施し、安定的な水道水供給に努めた。 7月の大雨では、増野配水池内に地下水の流入があり計器が故障したが、保険により更新を行った。 安定的な水道水供給を行った。 PR活動として出前講座を2件、浄水場見学1件を受入を行い、消費者からは「松川町の水はおいしい」と感想があった。	人口の減少や専門的な職員の不足に対応した持続可能な水道事業のためにも、広域化や運転管理業務の委託等を検討する必要がある。	引き続き、安定的な水道水供給のために24時間365日の運転管理を行う。広域化等の前のステップとして、書式や事務処理等の標準化などから実施することを検討している。水道法改正に伴い義務化された水道台帳を県内共通のフォーマットで作成していく。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	61,366	15,334	15,344	15,344	15,344
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	61,366	15,334	15,344	15,344	15,344

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：安定した水道水の供給

主要事業の概要：福与・部奈地区への安定給水のため、宮ヶ瀬橋架け替えに併せて連絡管を施工します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	宮ヶ瀬橋架け替えの進捗に伴い、送水管を宮ヶ瀬橋に添架した。 右岸側の道路工事の遅れにより計画工区の一部はR3年度に施工する。 福与・部奈地区への安定的な水道水供給を行った。	工事関係者との随時調整を行い、進捗管理に努める。	計画工区の施工を完了させる。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	49,110	19,410	29,700	0	0
特定財源（特財）	21,870	3,495	18,375	0	0
一般財源（一財）	27,240	15,915	11,325	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 農業集落排水と公共下水道の処理区統合

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：農業集落排水と公共下水道の処理区統合事業

主要事業の概要：公共下水道処理区と農業集落排水処理区を接続するため、法に基づく手続き及び接続管渠工事を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	下水道整備の基本方針となる公共下水道全体計画の見直しを行い、統合対象となる農業集落排水処理区及び、統合時期を決定した。 統合する処理区と統合までのスケジュールを整理することができた。	統合にあたり、法的な手続きを遅滞なく進める。	全体計画で統合を決定した農業集排大島処理区について、施設の財産処分申請、下水道事業法・都市計画法の事業認可の手続きを進める。	4 (目的達成)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	106,510	8,690	17,820	11,000	69,000
特定財源（特財）	84,900	4,300	600	11,000	69,000
一般財源（一財）	21,610	4,390	17,220	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

5-1 総括評価（施策大綱評価）



5 活気ある産業が息づくまちづくり

施策大綱1：持続可能な農業の推進

1. 町の基本方針

- ① 持続可能で安定的な農業経営のため、農業の担い手の育成と農業法人の設立支援をします。
- ② 非農家及び保護者等による有機農業の推進を行い、遊休農地の解消につなげるとともに、学校給食への提供等地産地消の促進を目指します。
- ③ 農作物被害を最小限に抑えるため、有害鳥獣対策を地域とともに進めます。
- ④ 農業用排水路の整備と、堤体の浸食等が進み決壊の危険性が高いため池の改修をします。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
新規就農者数	人	10	10				14	制度を運営の3年後となる令和4・5年度で、2人ずつの独立農家増を見込みます。
人農地プランの策定 件数	件	1	3				8	全ての地区で策定します。
法人設立件数	件	10	11				12	4年間で2件の設立を見込みます。
農業用排水路改修	m	L=1,509	L=928				L=4,070	平成30年度に取りまとめ、令和3年度までに実施要望の農地耕作条件改善事業の要望延長2,570mとさらに寄せられている要望延長の1,500mを目標値とします。
農業用ため池改修	箇所	n=0	n=0				n=2	防災重点ため池5池のうち堤体の浸食等が進み決壊の危険性が高い部奈地区の2池を補修対象とします。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : ー

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : ー

5-1 基本施策評価

基本施策：1. 農業の担い手育成と後継就農並びに新規就農者の受入れ支援

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：果樹農業研修生制度

主要事業の概要：地域おこし協力隊制度を活用した農業研修制度を設け、法人、JA技術員OBによる研修等を通じて、独立就農を目指します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	令和2年1月より1期生（2名）を委嘱し果樹農業研修制度を開始した。ともに夫婦での移住であり、定住施策としても効果が見られた。新規就農希望者の生活の場である安価な空き家（農家住宅）の確保が課題である。 持続可能な農業の推進に向け新規就農者を育成するため、農業法人、JA技術員OB等とも協力体制を構築し、地域で農業者を育成する機運を高めた。	3年間での独立就農に向け、新規就農者への支援は行っているが、後継就農者に対する支援が団体（若武者、MATSUKAWA農業女子）支援となっている。	令和3年4月より果樹農業研修生2期生（1名）を迎える。若武者MATSUKAWA農業女子への加入、地域とのつながりをさらに深め果樹農業後継者を地域で育成していくよう進めていく。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	59,330	7,147	13,343	23,500	15,340
特定財源（特財）	59,330	7,147	13,343	23,500	15,340
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：地域での話し合いにより、人農地プランを策定し、地域ごとの未来への農村設計図を描く
 主要事業の概要：区単位、それ以下の単位で、農業委員会を中心に話し合いを行い、人農地プランを策定します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	部奈地区・福与地区を計画していたが、部奈地区のみ実施。コロナ禍により、途中中断しながらも、全7回の話し合いを行いプランを策定した。 時間がかかるので、話し合いの回数を制限し、全地区での策定を進めたい。 将来、集落営農組織を立ち上げを想定し、プランを策定した。 農地の集約化や、農産物のブランド化を進める段取りができた。	プランを策定した後の活動をどうしていくかが課題。中心的な声掛け、活動をしていただけの人材が必要である。	実質化されたプラン策定のため、工程表を再度作成し、話し合いの場を設ける。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	1,379	422	113	422	422
特定財源（特財）	1,379	422	113	422	422
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 農業法人の設立を目指す農家の支援

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：六次産業化推進事業

主要事業の概要：南信州農業農村振興課、農業農村支援センター等関係機関と連携して、法人化、六次産業化（シードル、リキュール、ジュースなど）を目指す農家の支援をします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	町内でシードル醸造所が3軒となり、うち2軒については、農林水産省国庫補助事業を活用したため、県への申請書類や調整など、申請支援を行ってきた。 補助事業を活用することは、採択条件が年々厳しくなっている。 醸造所が増えたことにより、醸造委託をする農家も選択肢が増え、個性豊かな果実酒が増えることにより、地域ブランドとしての松川町の価値が上がった。	果実酒（シードル、ワイン）の消費者の認知度がまだ低く、町民の消費拡大が課題となっている。	事業者の創意工夫により、単発的なイベントではなく、文化として果実酒が根付く南信州地域（松川町）となる取り組みが必要である。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 遊休農地対策

【関連する基本方針】：基本方針②

主要事業：遊休農地の解消に向けた有機農業推進事業

主要事業の概要：1人1坪農園を推進して、学校給食への食材提供が可能とする仕組みをつくります。

【基本方針3 施策大綱2 基本施策1「地域と共にすすめる食育関連事業」】

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	環境保全型農業の推進として事業を進め、松川町ゆうきの里を育てよう連絡協議会が発足。実証圃場での有機栽培技術を学び、食材を学校給食に届けることができた。参加者及び、栽培面積を増やし、中年提供できるようにしたいが、取り組みに興味を持ってもらうことが難しい。 7月から3月まで、約1800kgの食材を提供でき、栽培者の声を子供たちに届けることができた。子供たちからの感謝の言葉（手紙）もあり、生産者と消費者（子どもたち）の交流ができた。地産地消の取り組みも積極的に行なえた。	年間を通じて、食材提供をするためにも参加者が増える、面積を増やすなど、実際の遊休農地解消がさらに進められるとよい。	実証圃場での研修会を継続し、昨年の取り組みの中で課題となった内容を改善する、用取り組みは継続するといった栽培方法を多くの参加者に伝えられるとよい。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	4,788	2,172	1,216	400	1,000
特定財源（特財）	2,191	1,298	793	100	0
一般財源（一財）	2,597	874	423	300	1,000

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：4. 地域とすすめる有害鳥獣対策

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：農地への鳥獣侵入の防止及び有害鳥獣駆除事業

主要事業の概要：地域住民の鳥獣害防止の意識向上のため、定期的な追払いや、防止策の研修会を実施します。

定期的に鳥獣侵入防止柵の維持管理を行います。

猟友会と連携して個体数調整をするとともに、猟友会への新規会員の加入促進のための支援を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	侵入防止策の維持管理として、地域の皆さんにわかりやすいようにマニュアルを作成し配布した。 猟友会の皆さんに協力いただき、発見、通報された鳥獣の駆除を実施した。商店街付近にクマの目撃情報があり、人への被害がないか心配されたが、パトロールや、捕獲檻の設置を実施した。 過去2年、住民の皆さんと追払いを実施したことにより、今まであったサルが目撃情報などが減少。自分たちで追いかうといった活動につながっている。 農作物への被害も減少している。	侵入防止柵の点検、軽微な補修等は地元の皆さんが担ってくれているが、急傾斜地の点検などが難しいといった話がある。 電気柵の延長を分断することにより、支障箇所がわかりやすいこともあり、希望箇所への優先順位を決めて、設置が必要である。	侵入されないためには、電気が確実に通っていることが必要であり、地域の役員の方が変わると、点検の方法等が継承されない場合があることから、毎年マニュアル作成と提供により、侵入防止できるようにすることが必要である。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	54,061	13,561	13,500	13,500	13,500
特定財源（特財）	27,605	6,905	6,900	6,900	6,900
一般財源（一財）	26,456	6,656	6,600	6,600	6,600

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：5. 農業基盤の整備

【関連する基本方針】：基本方針④

主要事業：農地耕作条件改善事業
農業用水路等長寿命化・防災減災事業

主要事業の概要：農地中間管理機構の重点地域に指定、もしくは指定が見込まれる地域の農業基盤整備をします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域から要望された農業用施設の改修について計画どおり実施することができた。また国庫補助に関する事務手続きも遅延なく終了することができた。 水路の漏水を防ぐことにより農地活用の環境向上、また営農に対する不安の解消、経営の安定に寄与できたと考える。	町内各所に未だ整備されていない農業用水路が散見される。また農業用水路は防災上の観点からも整備が必要と思われる。	引き続き計画的に更新事業を行うこととしたい。また老朽化により公共施設に影響が及んでいる高架水路橋（古町大井水路橋）については早急に補修着手したい。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	116,485	32,285	24,200	30,000	30,000
特定財源（特財）	100,350	22,129	22,481	27,870	27,870
一般財源（一財）	16,135	10,156	1,719	2,130	2,130

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

5-2 総括評価（施策大綱評価）



5 活気ある産業が息づくまちづくり

施策大綱2：魅力的な商工業の振興

1. 町の基本方針

- ① 既存企業や地元商店の衰退は町の社会・経済に大きな影響を与えることから、引き続き経営基盤の強化、雇用対策の推進、起業支援に取り組みます。
- ② 町の経済の活性化と雇用創出・定住支援を推進するため企業誘致に取り組みます。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
企業誘致数	企業	0	0				2	4年間で2つの企業誘致を見込みます。
空き店舗活用	件	1	0				3	現状の3倍の活用を見込みます。
マーくんカード支援	加入者 数	373	369				400	現状を維持します。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : -

※1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : -

５－２ 基本施策評価

基本施策：１．商工業振興策の支援

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：商工業振興

主要事業の概要：小規模企業指導事業、商工業振興対策事業等、商工会事業へ地域の現状にあった補助を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	コロナ禍であったため、当初計画していた事業について全てを実施することができなかったが、コロナ対策事業へ切り替えて実施することで事業者支援を行った。	喫緊の課題としては、コロナ禍でどう事業所の継続支援を行うべきか、国臨時交付金の活用等、支援策を継続して実施していく必要がある。	まずは、コロナ禍を抜け出した後、どう経済の回復を行っていくか検討する必要がある。	4 (目的達成)
	コロナ禍という緊急事態において、町内事業者には売上減少等の影響が出たものの、町独自のガイドラインを作り、安心安全な誘客の体制を構築し、各支援策を活用したり、国県の支援策のサポートも行ったことで、事業者の廃業等を食い止めることができた。			
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	49,400	11,800	11,800	12,900	12,900
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	49,400	11,800	11,800	12,900	12,900

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 企業誘致と既存企業との連携

【関連する基本方針】：基本方針①、②

主要事業：企業誘致

主要事業の概要：松川インター企業団地について、地域協議会と連携し、誘致企業の検討を進めます。
また、町内全域に中小企業など多種多様な職種の誘致も進めます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	当該地域の土地利用状況に変化がでてきており、誘致については積極的に実施しなかった。また、それに伴い、地域協議会についても開催しなかった。 当該地域の土地利用状況を確認する中では、企業誘致を行うのに妥当な地域とは言えない状況になってきている。	当該地域の土地利用状況を確認する中では、企業誘致を行うのに妥当な地域とは言えない状況になってきているため、方針転換など町として示していく必要がある。	当該地域をインター企業団地として継続していくのかどうか、町としての方針を検討する。	1 (50%未満)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度：－

次期総合計画への方向：－

主要事業：既存企業との連携

主要事業の概要：企業訪問を実施し、既存企業の現状把握をし、町施策へ反映をします。地元企業への雇用促進、担い手支援の検討を進めます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	町内の24事業所を訪問し、企業の現状について把握することができた。また、当町には500以上の事業所があり、すべて訪問するかなどの検討が必要となる。 通常時での企業の状況とコロナ禍での企業の状況について把握することができた。また、コロナ禍でもあり、経済支援施策への反映を行うことができた。	町内の500以上ある企業についてどう訪問し、施策にいつ反映していくのが良いか先のスケジュール管理が必要となる。	既存企業の充実と新規企業誘致の両方についてバランス良く実施するための方策を検討する。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. 商店街の活性化支援

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：空き店舗対策

主要事業の概要：商店街（商業）活性化や空き店舗対策として、商店街等が行う事業を支援します。商店街活性化のための地域会議を設置し、未来に向けた商店街の賑わい創出について検討を進めます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	地域会議を毎月実施。空き店舗調査、まち中児童館、あげる図書館事業の実施について決定し、GOTO商店街事業への申請の検討を行うも、コンセンサスが進まず一旦、ペンディングとなった。	なかなか個人の生業を持ちながら、事業をまとめる事は難しいという結論にいたり、事務局的な存在は必要であると判断している。	事業実施の調整とともに、事務局的な「まちづくり組織」の構築を進める。	2 (50%以上)
	事業がペンディングとなったものの、“あらい”の現状としてはこれらの事業は必要というコンセンサスはとれたため、事業の検討は進めることとした。			
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	2,000	500	500	500	500
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	2,000	500	500	500	500

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：マークンカード（地域通貨）支援

主要事業の概要：今般のキャッシュレス化も視野に地域の現状にあった地域通貨のあり方について検討を進めます。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	マークンカードについて存続方法も含めた検討開始について議論を行った。 使用者だけでなく、店主の高齢化、また、町としては、参加事業者にとってメリット（儲かる仕組み）がなければいけないということの理解をした。	他団体のカード事業者、大手キャッシュレス決済、地域団体が行う地域通貨事業、への移行などの検討が必要となる。	地域カードへの連携も含めた、マークンの存続（移管）方法を早急に町も参入し検討を進める。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

5-3 総括評価（施策大綱評価）



5 活気ある産業が息づくまちづくり

施策大綱3：関係人口の構築

1. 町の基本方針

- ① 松川町及びその周辺地域に存在する地域資源を磨き、活用するとともに、地域の産業や活動を繋ぐことにより、滞在交流観光の推進、交流人口の増加、産業の活性化、移住定住促進及び地域住民の誇りの醸成を図り、もって持続可能な地域づくりを目指します。
- ② ①を実現するため、観光地域づくり法人（地域DMO）を設置し、観光まちづくりの取組を推進します。
- ③ リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を見据え、若者のアイデアを政策に反映できる仕組みづくりと、この地域を訪れる人が親しめる開かれた地域づくりを推進します。また、交通環境の整備について、近隣市町村と連携し、促進します。

2. 目標指数

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説 明
清流苑宿泊者数	人	17,734	7,202				19,507	10%増を見込みます
観光地利用者数	人	296,010	113,444				300,010	毎年1,000人の増加を見込みます。

3. 総合評価（R4・5年度評価）

(1) 基本施策の達成度 : ー

※ 1つの施策について複数の課で行っている場合、実施課ごとに達成度の評価が異なる場合は、各課の達成度の平均値を採用します。（小数点以下切り上げ）

(2) 次期総合計画への方向性 : ー

５－３ 基本施策評価

基本施策：１．信州まつかわ温泉清流苑の運営

【関連する基本方針】：基本方針①

主要事業：インバウンド受入事業の推進
自然体験プログラムの推進

主要事業の概要：みなみ信州まつかわ観光まちづくりセンターや関係する旅行会社等と連携を図り事業の推進をはかります。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	2040年少子高齢化人口減少を見据え事業を立ち上げてきたが、新型コロナウイルスにより同様の状況に突然なったといっても過言ではない。この状況下ではあるが、森林セラピー事業については、ガイド育成、モニターツアー、プログラム開発と100%計画通り進めることができた。 成果はゼロである。自然体験プログラムの1つ、森林セラピー事業については、効果成果をだせるための人材育成、プログラム開発と本年度やるべきことは100%できた。	新型コロナウイルスによりインバウンドの停止、国内においても集客できない状況下において、どのようにして事業を展開集客していくかが最も課題である。	次年度においては、町民向けモニター事業を実施し、町民の皆さんへの周知を徹底して行いたい。新型コロナウイルス終息後、一気に町外へPRできる状況にする年度である。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	0	0	0	0	0
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	0	0	0	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：2. 南信州まつかわ観光まちづくりセンターによる地方創生戦略の推進

【関連する基本方針】：基本方針①、②

主要事業：地域ブランドを体感する滞在交流プログラム企画販売

主要事業の概要：インバウンドを中心としつつ、国内向け（大人）の滞在交流プログラムを企画造成、ブラッシュアップを図る。

2次交通（グリーンモビリティ、Eバイク等）の活用事業を実施します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	①コロナ禍であり、招き入れての事業検討はできなかったものの、中国深圳市企業とのリモート会議にてプログラム造成を進めることができた。 ②Eバイクを整備し、R3実施に向けて主に桑園、増野、西山地区でのコース検討を現地踏査にて実施した。 ①今後、必須とされるウィズ・ポストコロナを意識しての受入れ体制整備について進め、主にプログラムの地元協力者への理解を深めることができた。 ②現地踏査の結果地域を巡る重要性についてアテンド側が理解し、交流人口増（リピーターの創出）体制を整えた。	①②ウィズ・ポストコロナでの、（国内外からの）観光客の受入れについて更に受入方法の検討と観光事業者以外の住民理解が必要となる。 ②地域の特性として住民の自転車利用が少ないため、特に地区内の住民理解を進める必要がある。	①往来の緩和がされた時点で、（国内外からの）ファムトリップの実施は必須とされる。 ②レンタサイクル事業を実施し、実施後の課題について解消を進める。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	84,200	30,200	33,000	21,000	0
特定財源（特財）	47,500	14,000	12,500	21,000	0
一般財源（一財）	36,700	16,200	20,500	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：インバウンド誘客戦略を中心とした広報プロモーション

主要事業の概要：インバウンドを中心とした広報プロモーション(中国語等多言語対応の拡充や効果的な広告宣伝の構築)を行います。

インバウンドに対応した観光ワンストップ窓口システムの構築します。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	広報ツールのインバウンド化として中国（簡体字）語版、スペイン語版の観光サイトの作成を実施した。 中国側の制限により町観光サイトへのアクセスできないことが判明し、解消を行った。 今後のプログラム作成を実施する上での説明や、往来が緩和された際の来訪者の受入れ、インバウンドにおける交流人口の増について期待ができる。	サイトの閲覧（言語問題の解消と間接的に町を知ってもらう）とファムトリップ（実際に訪れてもらう）ことは一体とし、今後プログラム作成していく必要がある。	英語サイトも含めた、サイト内の深い階層への詳細な情報整備とプロモーション動画の作成の構築を進める。	3 (80%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	29,000	12,000	12,000	5,000	0
特定財源（特財）	17,000	6,000	6,000	5,000	0
一般財源（一財）	12,000	6,000	6,000	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

主要事業：観光宿泊施設のリブランディング[清流苑, 梅松苑, 青年の家あと利用]

主要事業の概要：清流苑及び梅松苑について時代にあったリブランディングの検討をします。
青年の家あと利用に関する構想策定と計画立案に基づく事業の実施をします。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	青年の家について、地元企業よりの提案を受け、実現可能かどうかの課題整理を行った。 エリア整備検討委員会を6回開催し、委員会（地元住民）としての方針を策定した。 数年にわたり検討を重ねてきた案件であったが、次年度以降へ向けた次のフェーズへの移行までたどり着いた。	地元企業の提案、パブリックコメント、検討委員会での方針について町としてどのような活用方針で進めるのか、県、議会等とのすり合わせが必要となる。	各関係機関とのすり合わせを行い、町としての方針（方向性）について確定させる。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	19,500	2,500	9,000	8,000	0
特定財源（特財）	13,750	1,250	4,500	8,000	0
一般財源（一財）	5,750	1,250	4,500	0	0

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

基本施策：3. リニア中央新幹線・三遠南信道路の開通を見据えた環境整備

【関連する基本方針】：基本方針③

主要事業：住民との意見交換

主要事業の概要：行政関係者による検討を行うとともに、住民との意見交換会を実施し、環境整備を行います。

年度	主要事業の達成状況・課題	基本方針の実現に向けた課題	次年度への施策の展開方針	目的達成度
	基本方針の実現に向け、どのような効果や成果があったか			
R2	町内の若者がリニア中央新幹線の開通後のまちづくりに関わる機会を創出することを目的に「リニア開通後の町の将来について語る会(仮称)」の立ち上げを企画。人選を行ったところでコロナの影響から会議の開催までには至らなかった。 一方、下伊那北部総合事務組合において北部5町村による「地域づくり検討会」が進められ、次年度以降で若手職員や地域の若者を中心とした検討会議の開催の方向が示された。 若者のアイデアを政策に反映する仕組みづくりを近隣市町村と連携して促進できるよう、北部5町村による若者を中心とした「まちづくり構想」の検討が具体化した。	近隣市町村と連携して進めることとなる交通環境の整備については、若者のアイデアに加えて交通事業者等関係機関の協力が必要。	町単独による「リニア開通後の町の将来について語る会(仮称)」の立ち上げを企画したが、下伊那北部5町村において「まちづくり構想」の検討が進められることから、そちらに集約して基本方針達成に向け取り組むこととする。	2 (50%以上)
R3				
R4				
R5				

事業費

(単位：千円)

	総事業費	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業費	300	0	0	150	150
特定財源（特財）	0	0	0	0	0
一般財源（一財）	300	0	0	150	150

総括評価（R4・5年度評価）

基本施策の達成度 ：－

次期総合計画への方向 ：－

6 - 1

目標指標進捗状況一覧

1 多様性を活かした自治づくり

1-1 持続可能な自治組織作り

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
自治機能を支える 組織・団体の参画 件数	件	0	1				2	町や各地域と地方創生包 括的地域連携協定の締結 する組織・団体の数と し、2年間で1件を見込 みます。

1-2 男女共同参画の推進

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
審議会への女性登 用率	%	24.3	26.7				33.3	啓発活動による増を見込 み、女性登用率を33.3% とします。

1-3 町政情報の共有

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
町ホームページア クセス件数	件/月	11,313	13,199				12,400	SNS連携機能を活用する ことで、現状の10%増 を見込みます。

1-4 時代にあった行財政運営と行政サービスの推進

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
経常収支比率	%	87.1	81.2				87.1	過去3年で一番高い数値 を上限として、それ以下 を目指します。
将来負担比率	%	-15.6	-17.4				0	上昇傾向にある状況を鑑 み、現状の水準を維持し ます。
財政調整基金残高	百万円	1,015	900				815	適正規模とされる標準財 政規模（H30：4,077百万 円）の20%以上を維持し ます。
マイナンバーの普 及	%	6.6	20.9				85.9	国のマイナンバーカード 交付円滑化計画に基づく 取得率を目指します。
町税の現年度収納 率	%	99.3	96.81				99	コンビニ収納を行うこと による納税者の利便性を 高め、収納率を維持しま す。

1-5 移住定住の促進

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
高校生のフィールドワーク参加者数	人	0	36				40	10人/年×4年間＝40人（延べ人数）を見込みます。
空き家情報バンクの成約率（令和2～5年度まで）	%	35.6	31.9				50.0	現状の15%増加を見込みます。
移住促進住宅利用者が松川町へ定住する割合	%	100	100				100	利用者すべてが定住につなげます。
UIJターン就業・創業移住支援事業による移住者	人	0	0				12	3人/件×4年間＝12人を見込みます。

2 安心して子育てできる環境づくりと 地域で学び、地域で育つ人づくり

2-1 子どもの育ちの切れ目のない支援

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
両親学級参加率	%	23.2	17.1				24.0	現状維持を目指します。
乳幼児健診参加率（4ヶ月、1歳半、3歳）	%	99.0	98.7				99.0	現状維持を目指します。
町内保育園の運営	園数	5	5				5.0	園ごと特色ある保育を継続して行います。

2-2 探究的・主体的な学び

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
中学校生徒向けの教育用コンピュータの整備	台/人	1台/3.44人	1台/1人				1台/1人	中学校については教育用コンピュータの整備率を引き上げ、国の目標基準を達成します。

2-3 地域とともに育てる学校づくり

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
学校運営を応援する地域組織との連携	組織数	3	3				3	各小中学校あたり1組織を継続していく。

2-4 学びが循環する社会づくり

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
中央公民館の年間 延べ利用団体数	団体	2,482	2,457				2,600	5%の増加を見込みます。
町内人口一人当 たり貸出冊数	冊	8	9				8	現状維持を見込みます。
企画展示・講座 (学習会)開催数/ 年度	回	7	5				8	年1回の増加を見込みます。

3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり

3-1 健康な暮らしづくり

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
特定健診受診率	%	67.5	57.4 (R3.3月末)				67.5	現状維持を目指します。
健康学習会の開催	回	78	21				78	現状維持を目指します。
一人あたり医療費	円	298,727	300,205 (見込み)				298,727	現状維持を目指します。

3-2 食育の推進

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
メタボリックシン ドローーム対象者の 割合の減少	%	男性23.5 女性 7.1	男性24.1 女性7.6				男性23.0 女性 7.0	目標値は、成人健診受診者に占める割合とし、現状の維持を見込みます。
朝食を毎日食べる 園児・児童・生徒 の割合	%	93.8	—				95.0	保育園・小学校・中学校の平均値。1.2%増を見込みます。
学校給食で使う主 要品目の野菜にお ける環境に優しい 農業による松川町 農産物の利用量 (kg)の割合	%							一坪農園を活用した有機農業の推進による増加を見込みます。 基本方針5 施策大綱1「持続可能な農業の推進」関連事業
じゃがいも		0	24.67				50	
にんじん		0	7.03				30	
ネギ		0	47.5				35	
玉ねぎ		0	0				45	
二マロイチマル 20・10運動を実 践している住民の 割合	%	31.2	—				35.0	松川町食育推進基本計画における保健福祉課が行うアンケート調査結果を用います。

3-3 支えあい、認め合うまちづくりと共生社会の実現

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
生活困窮の相談件数	件	11	10				10	窓口相談受付件数
日平均利用者数	人	10.1	7.1				12	地域活動支援センターⅢ型の利用人数要件
認知症サポーター数	人	2,016	2,226				2,616	・オレンジチーム（認知症初期集中支援チーム）による認知症患者とその家族の支援 ・オレンジ推進員（認知症地域支援推進員）による地域での認知症啓発活動 ・GPSや行方不明者情報配信による早期発見
第8期介護保険計画策定と実施	%	0	100				100	令和2年度中に第8期介護保険計画策定を行い、令和3～5年度に事業を実施します。
コミュニティカフェ及び地域活動支援センター“あすなろ”登録者数	人	4,896	2,760				5,100	地域共生社会の拠点となる施設を、交通の便や地理的条件を考慮した場所へ統合して設置し、年齢や障がいの有無に関わらず活躍できる場を提供することで、登録者の増を図ります。

4 安心で安全な住みよい暮らしづくり

4-1 災害に強い地域づくり

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
消防団員数 （機能別団員を含む）	人	277	273				296	消防力維持のため、定員に定める団員数の確保を目標とします。
民有林の森林経営未計画面積	ha	179	178				140	全森林から策定済箇所、企業所有、赤松森林を抜いた面積内。

4-2 暮らしを支える交通環境づくり

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
町道改良率	%	50.6	51.3				52.0	年間0.3%の増を目標とします。
橋梁修繕数	橋	0	2				8	修繕計画の目標とします。
舗装修繕延長	m	1,100	1,400				1,500	
コミュニティバス等の利用者総数	人/年	31,891	20,703				39,891	2,000人/年×4年間＝8,000人の増加を見込みます。

4-3 自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
河川の大腸菌群数	MPN/ 100ml	79,300	9,053				1,000	特に値が高い野岩川を中心に対策を検討し、生活環境の保全に関する環境基準1,000以下を目指します。
およりての森周辺 一帯の整備面積	ha	16	17				19	全面積28ha（およりての森、池の平、青年の家周辺） 整備済 16ha（およりての森）
不法投棄処理件数	件	55	40				32	過去10年平均に、施策による減少（△2割）を見込みます。
燃やすごみの排出量	t	1,557	1,634				1,479	H30実績値の5%削減とします。
蓄電池設置事業補助金交付件数	件	0	18				8	太陽光発電システムを設置するお宅10件に1件蓄電池設置をすると推測し、年間2件を見込みます。

4-4 安全安心な水の供給

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
農業集落排水処理 区画数	処理区	5	5				4	公共下水道処理区と隣接し、物理的に接続が容易な農集排水処理区の統合を優先して行います。

5 活力ある産業が息づくまちづくり

5-1 持続可能な農業の推進

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
新規就農者数	人	10	10				14	制度を運営の3年後となる令和4・5年度で、2人ずつの独立農家増を見込みます。
人農地プランの策定件数	件	1	3				8	全ての地区で策定します。
法人設立件数	件	10	11				12	4年間で2件の設立を見込みます。
農業用排水路改修	m	L=1,509	L=928				L=4,070	平成30年度に取りまとめ、令和3年度までに実施要諦の農地耕作条件改善事業の要望延長2,570mとさらに寄せられている要望延長の1,500mを目標値とします。
農業用ため池改修	箇所	n=0	n=0				n=2	防災重点ため池5池のうち堤体の浸食等が進み決壊の危険性が高い部奈地区の2池を補修対象とします。

5-2 魅力的な商工業の振興

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
企業誘致数	企業	0	0				2	4年間で2つの企業誘致を見込みます。
空き店舗活用	件	1	0				3	現状の3倍の活用を見込みます。
マーくんカード支援	加入者数	373	369				400	現状を維持します。

5-3 関係人口の構築

目標指数	単位	H30年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	R4年度 実績値	R5年度 実績値	R5年度 目標値	説明
清流苑宿泊者数	人	17,734	7,202				19,507	10%増を見込みます
観光地利用者数	人	296,010	113,444				300,010	毎年1,000人の増加を見込みます。

施策大綱ごとにみた関連するSDG s 一覧

SDG s (Sustainable Development Goals) :

SDG s のゴールの番号		1	2	3	4	5
基本方針1 多様性を活かした自治づくり						
1 -	1 持続可能な自治組織づくり					
	2 男女共同参画の推進					○
	3 町政情報の共有					
	4 時代にあった行政財産運営と行政サービスの推進					
	5 移住定住の促進					
基本方針2 安心して子育てできる環境づくりと地域で学び、地域で育つ人づくり						
2 -	1 子どもの育ちの切れ目ない支援		○	○	○	
	2 探究的・主体的な学び	○			○	
	3 地域とともに育てる学校づくり				○	
	4 学びが循環する社会づくり	○			○	
基本方針3 共に支え合い、健康に暮らすまちづくり						
3 -	1 健康な暮らしづくり	○	○	○	○	
	2 食育の推進	○	○	○	○	
	3 支えあい、認め合うまちづくりと共生社会の実現	○		○		
基本方針4 安心で安全な住みよい暮らしづくり						
4 -	1 災害に強い地域づくり	○	○		○	○
	2 暮らしを支える交通環境づくり		○			
	3 自然環境・景観の保全と適正な土地利用の推進	○			○	
	4 安心安全な水の供給	○				
基本方針5 活気ある産業が息づくまちづくり						
5 -	1 持続可能な農業の推進	○	○			
	2 魅力的な商工業の振興					
	3 関係人口の構築					



2015年9月に国連で採択された、17のゴールと169のターゲットで構成された持続可能な開発目標のこと。

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
											
					○						○
				○	○						○
					○					○	
			○	○	○						○
		○			○				○		○
											
					○						○
					○					○	
					○						○
		○	○		○						
											
					○						
						○					○
				○	○					○	○
											
○					○		○		○		○
			○		○	○					
○	○	○	○		○	○	○	○	○		○
○					○		○	○	○		
											
		○			○	○			○		
		○			○	○	○				○
○		○			○		○				○

